

2020年度 事業計画書

公益財団法人
田 附 興 風 会

目 次

1. 財 団 運 営

理事会、評議員会の開催

2. 主 た る 医 学 研 究

(1) 2020 年度研究課題

第 1 研究部 (癌研究部)	-----	1
第 2 研究部 (心、血管、肺、血液、障害研究部)	-----	9
第 3 研究部 (代謝、消化栄養、体液平衡障害研究部)	-----	18
第 4 研究部 (免疫、アレルギー、感染、病理研究部)	-----	24
第 5 研究部 (精神、神経、感覚、運動器障害研究部)	-----	26
第 6 研究部 (発生、再生、発達障害研究部)	-----	31
第 7 研究部 (生体画像、医療機器学研究部)	-----	34
第 8 研究部 (予防、医療疫学、検査医学研究部)	-----	35
第 9 研究部 (薬学、生理学研究部)	-----	38
第 10 研究部 (看護学研究部)	-----	39
第 11 研究部 (医療情報管理・経営企画研究部)	-----	40
第 12 研究部 (東西医学研究部)	-----	42

(2) 地域医療研修センター事業・研究会の開催	-----	43
-------------------------	-------	----

(3) ～ (6) 学会発表 等	-----	44
------------------	-------	----

3. 医学研究所北野病院の運営

2020 年度事業計画	-----	45
-------------	-------	----

1. 財 団 運 営

- (1) 理事会の開催 (定例 6月、2月)
- (2) 評議員会の開催 (定例 事業年度終了後3ヶ月以内)

2. 主 た る 医 学 研 究

(1) 2020 年度研究課題

○2020 年度 文部科学省・日本学術振興会 科学研究費助成事業 継続課題 (11 件)
△2020 年度 文部科学省・日本学術振興会 科学研究費助成事業 申請課題 (13 件)
※2020 年度 AMED 関連事業 継続課題 (2 件)

第 1 研究部 (癌研究部)

部長	黄 政龍	(呼吸器 C 呼吸器外科)
研究主幹	岡田 卓也	(泌尿器科)
	樋口 壽宏	(産婦人科)
	寺嶋 宏明	(消化器 C 消化器外科)
	上田 修吾	(消化器 C 消化器外科)
	八隅 秀二郎	(消化器 C 消化器内科)
	福永 豊和	(消化器 C 消化器内科)
	高原 祥子	(乳腺外科)
	西村 貴文	(腫瘍内科)
	梶山 徹	(緩和ケア科)

乳腺外科系

- 1 閉経後再発乳癌患者を対象とした抗 PD-1/PD-L1 抗体薬と抗 CTLA-4 抗体薬あるいは放射線療法併用の有効性、安全性を探索する医師主導型臨床試験 (臨床第 II 相試験)
(高原祥子、吉本有希子)
- 2 多施設共同研究臨床試験 : 【KBCRN-B-003】
手術可能なホルモン感受性 HER2 陰性原発性乳癌の術前療法として、ホルモン療法+パルボシクリブとホルモン療法+プラセボを比較する第 III 相ランダム化二重盲検比較試験
(高原祥子、大林亜衣子、藤本優里、吉本有希子)
- 3 トモシンセシス・3D マンモグラフィの石灰化診断における有用性の研究
(大林亜衣子、高原祥子)
- 4 ICG を用いた乳癌腋窩郭清における上肢リンパ管温存に関する研究
(大林亜衣子、吉本有希子、高原祥子)
- 5 高齢者乳癌の治療選択とその予後について
(大林亜衣子、吉本有希子、高原祥子)
- 6 アロマターゼ阻害薬 (AI) 内服中のホルモン陽性閉経後乳癌患者における骨代謝関連

因子とビスホスホネート製剤に対する治療反応性に関する探索研究

(藤本優里、大林亜衣子、高原祥子)

- 7 乳癌術前化学療法の効果予測因子についての研究
(高原祥子、藤本優里、吉本有希子)
- 8 家族性乳がん・膵がん患者の膵がん早期発見パイロットプロジェクト
(吉本有希子、大瀬戸久美子、高原祥子、八隅秀二郎)
- 9 遺伝性乳癌卵巣癌におけるリスク低減手術の適応と効果解析
(吉本有希子、大瀬戸久美子、高原祥子)
- 10 遺伝性乳癌高リスク患者に適した遺伝子パネル検査の探索
(大瀬戸久美子、小松茅乃、吉本有希子、高原祥子)
- 11 若年乳癌に対する妊孕性温存と治療方針についての意識調査
(藤本優里、吉本有希子、小松茅乃、高原祥子)
- 12 ゲノム医療にむけた院内体制づくりに関する研究
(小松茅乃、大瀬戸久美子、吉本有希子、高原祥子)

泌尿器科系

- 1 尿路上皮癌に対する免疫チェックポイント阻害薬治療の多施設共同観察研究
(岡田卓也、小池修平、池内亮介、宗田 武)
- 2 ホルモン感受性転移性前立腺癌の治療実態に関する前向き研究
(池内亮介、小池修平、宗田 武、岡田卓也)
- 3 前立腺肥大症に対する経尿道的レーザー蒸散術 (PVP) の有用性に関する検討
(小池修平、池内亮介、宗田 武、岡田卓也)
- 4 難治性過活動膀胱に対する仙骨神経刺激療法の有用性の検討
(宗田 武、小池修平、池内亮介、岡田卓也)
- 5 小径腎癌に対するロボット支援腎部分切除術の安全性の検討
(岡田卓也、小池修平、池内亮介、宗田 武)
- 6 前立腺癌に対するロボット支援前立腺全摘術の臨床的有用性の検討
(宗田 武、小池修平、池内亮介、岡田卓也)
- 7 前立腺癌に対する Ra223 製剤の有用性に関する検討
(池内亮介、小池修平、宗田 武、岡田卓也)
- 8 過活動膀胱に対する投薬状況の検討
(宗田 武、小池修平、池内亮介、岡田卓也)

産婦人科系

- 1 全腹腔鏡下広汎子宮全摘術の腫瘍学的予後の検討
(関山健太郎、秦さおり、多賀敦子、山本 彩、河合恵理)
- 2 腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術の手術手技に関する検討
(関山健太郎、吉岡弓子、奥田亜紀子、秦さおり、多賀敦子、大西佑実)
- 3 広汎性子宮頸部摘出術の腔式手術への発展
(吉岡弓子、小藺祐喜、多賀敦子、河合恵理、山本 彩)
- 4 腹腔鏡補助下のセンチネルリンパ節検索の有用性の検討
(吉岡弓子、小藺祐喜、多賀敦子、山本 彩、大西佑実)
- 5 腹腔鏡下子宮全摘術における尿管損傷回避のための術式検討

- (関山健太郎、秦さおり、多賀敦子、河合恵理、大西佑実)
- 6 腹腔鏡下子宮筋腫核出時の筋腫細切術の工夫
(秦さおり、関山健太郎、小藺祐喜、山本 彩、大西佑実)
 - 7 婦人科癌手術における深部静脈血栓症の発生についての検討
(小藺祐喜、吉岡弓子、奥田亜紀子、河合恵理)
 - 8 前置胎盤帝王切開術時の出血量軽減に向けた術式改変
(奥田亜紀子、多賀敦子、秦さおり、大西佑実)
 - 9 術後合併症の観点からの子宮頸部 LEEP 手術の術式改変
(奥田亜紀子、多賀敦子、河合恵理、芝本拓巳)

消化器センター 消化器外科系

【食道】

- 1 食道癌術前化学療法無効症例を同定するための血清バイオマーカー探索
(上田修吾)
- 2 下部食道がん 接合部がんに対する腹臥位胸腔鏡下食道胃管吻合法における手技の工夫と治療成績に関する研究
(田中英治)
- 3 腹臥位胸腔鏡下食道切除における左反回神経周囲リンパ節郭清の合理的手技の考案と短期成績に関する研究
(田中英治)
- 4 下部食道がん・接合部がんに対する腹腔鏡下経裂孔的下縦隔郭清における解剖学的特性に基づいた手技の定型化と有用性に関する研究
(田中英治)
- 5 手術支援ロボット (da Vinci surgical system) を用いた食道手術における安全性、有用性に関する研究
(田中英治)

【胃・十二指腸・小腸】

- 6 根治切除可能な大型 3 型/4 型胃癌に対する術前 TS-1+CDDP 併用化学放射線療法 第 I / II 相臨床試験 (OGSG1205)
(上田修吾)
- 7 StageⅢの治癒切除胃癌に対する術後補助化学療法としての TS-1+Docetaxel 併用療法と TS-1 単独療法のランダム化比較第Ⅲ相試験 (JACCRO GC-07 (START-2))」におけるバイオマーカー研究 JACCRO GC-07AR2
(上田修吾)
- 8 StageⅢの治癒切除胃癌症例における TS-1 術後補助化学療法の予後予測因子および副作用発現の危険因子についての探索的研究 (JACCRO GC-07 AR)
(上田修吾)
- 9 大型 3 型/4 型胃癌に対する術前 TS-1+CDDP+DTX 併用療法による第Ⅱ相臨床試験 (OGSG1402)
(上田修吾)
- 10 フッ化ピリミジン,CDDP,Taxan および CPT-11 に不応・不耐となった切除不能・再発胃癌におけるカペシタビン+オキサリプラチン (XELOX) 療法の第Ⅱ相試験 (OGSG1403)

- (上田修吾)
- 1 1 Ramucirumab 抵抗性進行胃癌に対する Ramucirumab+Irinotecan 併用療法のインターグループランダム化第 III 相試験 (RINDBeRG 試験)
(上田修吾)
 - 1 2 進行度 (病理分類) I、II 期胃癌患者の胃切除後の骨密度に関する前向きコホート研究 (LOHAS study)
(上田修吾)
 - 1 3 腹膜播種を伴う胃癌に対する S-1/シスプラチン+パクリタキセル腹腔内投与併用療法の第 II 相臨床試験 (先進医療) (上田修吾)
 - 1 4 経口摂取困難な腹膜播種陽性胃癌症例に対する mFOLFOX6+パクリタキセル腹腔内投与併用療法の探索的臨床試験
(上田修吾)
 - 1 5 胃上部癌、食道胃接合部癌に対する術後 QOL 向上に寄与する胃切除術式、再建法に関する研究
(上田修吾)
 - 1 6 京都大学外科関連多施設における胃癌手術レジストリ
(上田修吾、田中英治)
 - 1 7 4 型進行胃癌に対する術後または周術期補助化学療法としての全身・腹腔内併用化学療法と全身化学療法の無作為化比較第 III 相試験 (先進医療)
(上田修吾)
 - 1 8 切除不能進行性胃癌症例におけるニボルマブのバイオマーカー探索を含めた観察研究 (DELIVER 試験) (JACCRO GC-08)
(上田修吾)
 - 1 9 胃癌 Stage III の術後 Docetaxel+S1 (DS) 療法後早期再発症例に対する Ramucirumab+Irinotecan 併用療法第 II 相多施設共同臨床試験 (OGSG1901)
(上田修吾)
 - 2 0 胃癌手術症例のバイオバンク構築
(上田修吾、田中英治)
 - 2 1 完全腹腔鏡下胃全摘術におけるリニアステープラーを用いた吻合法の有用性と安全性に関する研究
(田中英治)
 - 2 2 手術支援ロボット (da Vinci surgical system) を用いた胃がん手術における安全性有用性に関する研究
(田中英治)
 - 2 3 切除可能胃癌に対する da Vinci surgical system (DVSS) によるロボット支援胃切除術の安全性、有効性、経済性に関する多施設共同臨床試験
(田中英治)
 - 2 4 腹腔鏡下胃全摘術における食道空腸吻合法に関する多施設共同後ろ向き観察研究
(田中英治)
 - 2 5 2 型糖尿病を有する胃癌患者に対する幽門側胃切除術後の消化管再建法の糖尿病経過への影響に関する多施設共同後ろ向き観察研究
(田中英治)
 - 2 6 十二指腸癌外科的切除症例の臨床病理学的因子と予後に関する研究

(上村 良)

【大腸】

- 2 7 治癒切除結腸癌 (StageⅢ) を対象としたフッ化ピリミジン系薬剤を用いた術後補助化学療法 of 個別化治療に関するコホート研究 (B-CAST)
(福田明輝)
- 2 8 術後補助化学療法に Oxaliplatin を用いた大腸癌再発症例に対しての FOLFOX、XELOX±BV の再投与の検討
(福田明輝)
- 2 9 直腸癌手術後における生活の質の調査 (直腸術後 QOL study)
(福田明輝)
- 3 0 Fluoropyrimidine, Oxaliplatin, Irinotecan を含む化学療法に不応または不耐の KRAS 野生型進行・再発結腸・直腸癌に対する Regorafenib と Cetuximab の逐次投与と Cetuximab と Regorafenib の逐次投与のランダム化第Ⅱ相試験
(福田明輝)
- 3 1 StageⅢ結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としての mFOLFOX6 療法または XELOX 療法における 5-FU 系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験
(福田明輝)
- 3 2 切除不能な進行・再発大腸癌に対する初回治療としての FOLFOXIRI+ベバシズマブ療法多施設共同第Ⅱ相試験
(福田明輝)
- 3 3 切除不能な進行・再発大腸癌に対する 2 次治療としての XELIRI with/without Bevacizumab 療法と FOLFIRI with/without Bevacizumab 療法の国際共同第Ⅲ相ランダム化比較試験
(福田明輝)
- 3 4 治癒切除不能進行・再発大腸癌に対する一次治療としてのカペシタビン/LV5FU2+ベバシズマブ療法後の XELOX/FOLFOX+ベバシズマブ逐次療法と XELOX /FOLFOX+ベバシズマブ併用療法の多施設共同ランダム化第Ⅲ相臨床試験
(福田明輝)
- 3 5 再発危険因子を有するハイリスク StageⅡ結腸がん治癒切除例に対する術後補助化学療法としての mFOLFOX6 療法または XELOX 療法の至適投与 期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験
(福田明輝)
- 3 6 RAS 遺伝子 (KRAS/NRAS 遺伝子) 野生型で化学療法未治療の切除不能進行再発大腸癌患者に対する mFOLFOX6+ベバシズマブ併用療法と mFOLFOX6+パニツムマブ併用療法の有効性及び安全性を比較する第Ⅲ相無作為化比較試験 (PARADIGM 試験)
(福田明輝)
- 3 7 RAS 野生型進行大腸癌患者における FOLFOXIRI+セツキシマブと FOLFOXIRI+ベバシズマブの最大腫瘍縮小率 (DpR) を検討する無作為化第Ⅱ相臨床試験
(福田明輝)
- 3 8 大腸癌肝転移治癒切除後の患者に対する術後補助化学療法として、L-OHP ベース化学療法に FT/LV 療法の逐次療法を行うことの安全性と有用性の検討
(福田明輝)

- 3 9 局所進行下部直腸癌に対する術前補助化学療法の有効性と忍容性の研究 (Estneo 研究) の長期予後調査研究
(福田明輝)

【肝臓、肝切除、基礎研究】

- 4 0 食事制限による肝虚血再還流障害の制御機構の解明
(学術研究助成基金助成金 H30-R2 年度 基盤研究 C 継続)
(寺嶋宏明、内田洋一朗、川添准矢)
- 4 1 ブタ非アルコール性脂肪肝炎関連肝癌 (NASH-HCC) モデルにおける血液・肝臓プロテオミクス (学術研究助成基金助成金 2019-2021 年度 基盤研究 C)
(井口公太)
- 4 2 肝細胞癌における癌幹細胞の転移メカニズム解明と新規治療標的の同定に関する研究
(学術研究助成基金助成金 2018-2020 年度 若手研究)
(河合隆之)
- 4 3 癌幹細胞の観点から見た肝癌におけるゲノム不均一性の解明
(学術研究助成基金助成金 2019-2021 年度 基盤研究 C 分担研究者)
(河合隆之)
- 4 4 生体由来 3 次元スキャフォールドを用いた再生肝臓による生存率改善と ECM 解析
(学術研究助成基金助成金 2019-2021 年度 基盤研究 C 分担研究者)
(河合隆之)
- 4 5 肝細胞癌における keratin 19 陽性癌幹細胞を標的とした新規治療戦略構築に関する研究 (公益財団法人 がん研究振興財団 がん研究助成金)
(河合隆之)
- 4 6 肝虚血再灌流障害におけるリコモジュリン分画製剤の抗炎症作用の機序解明
(旭化成ファーマ共同研究助成費)
(寺嶋宏明、川添准矢)
- 4 7 大建中湯における肝虚血再灌流障害に対する保護効果に関する基礎研究
(ツムラ受託研究助成費)
(寺嶋宏明)
- 4 8 C 型肝炎関連肝細胞癌切除後インターフェロン補助療法の臨床的意義に関する研究 (KHBO1203)
(寺嶋宏明)
- 4 9 高度脈管侵襲を伴う進行肝細胞癌に対する肝切除術と術後肝動注化学療法の有用性に関する臨床研究 (KHBO1207)
(寺嶋宏明)
- 5 0 同時性切除不能大腸癌肝転移に対する肝先行切除または原発先行切除の有用性および安全性の検討
(寺嶋宏明)
- 5 1 大腸癌肝転移治癒切除後の患者に対する術後補助化学療法として、L-OHP ベース化学療法に UFT/LV 療法の逐次療法を行うことの安全性と有用性の検討
(寺嶋宏明)
- 5 2 大腸癌肝転移に対する肝切除法と予後に関する研究
(京都大学外科関連施設共同後ろ向き研究)
(河合隆之、寺嶋宏明)

- 5 3 肝切除後肝再生・肝不全における脂質代謝ネットワークを探る
(井口公太)
- 5 4 水溶性植物繊維による肝保護効果とメカニズムの解明
(宮内智之)
- 【胆道】
- 5 5 FDG-PET 陽性リンパ節転移を伴う切除可能胆道癌に対する術前ゲムシタビン/シスプラチン/S-1 併用術前化学療法 (GCS 療法) の有効性・安全性試験 (KHBO1201)
(寺嶋宏明)
- 5 6 肝葉切除を伴わない胆道癌切除例を対象としたゲムシタビン/シスプラチン (GC) 併用療法とゲムシタビン/S-1 (GS) 併用療法の術後補助化学療法のランダム化第Ⅱ相試験 (KHBO1901)
(上村 良)
- 5 7 GEM/CDDP/S-1 (GCS) 療法不応または不耐後の切除不能胆道癌に対する二次治療の有効性に関する多施設共同後ろ向き観察研究: KHBO1401-3A
(当院承認研究 P14-07-013 の付随研究)
(寺嶋宏明)
- 5 8 KHBO1401 附随研究: 切除不能胆道癌肺転移に対する GEM/CDDP/S-1 と GEM/CDDP の有用性の比較検討 (KHBO1401-3B)
(寺嶋宏明)
- 5 9 全国胆道癌の後方視的観察研究
(寺嶋宏明)
- 【膵臓、膵切除】
- 6 0 膵・消化管および肺・気管支・胸腺神経内分泌腫瘍の患者悉皆登録研究
(上村 良)
- 6 1 膵頭十二指腸切除術後残膵管拡張の臨床的意義とそのリスクファクターの同定: 多施設共同前方視的コホート研究 (DAIMONJI-Study)
(上村 良)
- 6 2 切除不能・再発膵がんを対象とした相同組み換え修復関連遺伝子変異を含む遺伝子検査を用いたコホート研究
(寺嶋宏明)
- 【その他】
- 6 3 Multi-gene Panel を用いた遺伝学的検査の遺伝カウンセリングモデルに関する研究
(寺嶋宏明)
- 6 4 抗血栓薬 (抗血小板薬・抗凝固薬) 服用患者における消化器外科手術の安全性の検証
(河合隆之、久野晃路)
- △ 6 5 虚血再還流による臓器障害を軽減する漢方「大建中湯」の作用機構の解明
(宮内智之)

消化器センター 消化器内科系

- 1 家族性膵癌の疾患関連遺伝子に関する解析
(栗田 亮、八隅秀二郎)
- 2 大阪早期膵癌プロジェクト
(八隅秀二郎、栗田 亮)

- 3 ERCP 関連偶発症に関する多施設共同前向き観察研究
(八隅秀二郎、栗田 亮)
- 4 がんと静脈血栓塞栓症の臨床研究：多施設共同前向き登録研究
-Cancer-VTE Registry-
(八隅秀二郎、栗田 亮、高 忠之)
- 5 迅速ウレアーゼ試験における胃粘液検体からのヘリコバクターピロリ検出の検討
(山内淳嗣、渡邊幸太郎、八隅秀二郎)
- 6 閉塞性黄疸を有する 1 型自己免疫性膵炎に対する胆管ステント非留置下ステロイド投与の安全性評価試験
(栗田 亮、八隅秀二郎)
- 7 Niti-s 大腸用ステントMD タイプ多施設共同前向き安全性観察研究
(山内淳嗣、渡邊幸太郎、八隅秀二郎)
- 8 消化器内視鏡に関連する疾患、治療手技データベース構築
(山内淳嗣、渡邊幸太郎、栗田 亮、八隅秀二郎)
- 9 血液中のアミノ酸および代謝物濃度を用いた膵臓がんの新規バイオマーカーの開発に関する研究
(八隅秀二郎、栗田 亮、高 忠之)
- 1 0 直接作用型経口抗凝固薬内服者における内視鏡的粘膜下層剥離術後出血の薬理学的予測因子の探索的研究
(八隅秀二郎)
- 1 1 20mm以下の十二指腸非乳頭部在性腫瘍に対する Underwater Endoscopic Mucosal Resection (UEMR) の有効性に関する多施設共同観察研究
(山内淳嗣、渡邊幸太郎、八隅秀二郎)
- 1 2 家族性地中海熱遺伝子関連腸炎の診断法確立
(八隅秀二郎、高 忠之)
- 1 3 RAS 遺伝子 (KRAS/NRAS 遺伝子) 野生型で化学療法未治療の切除不能進行再発大腸癌患者に対する mFOLFOX6+ベバシズマブ併用療法と mFOLFOX6+パニツムマブ併用療法の有効性及び安全性を比較する第Ⅲ相無作為化比較試験
(八隅秀二郎、高 忠之)
- 1 4 血液透析中の消化器癌患者に対する FOLFOX 療法の安全性と有効性に関する多施設共同臨床試験
(八隅秀二郎、高 忠之)
- 1 5 切除不能・再発膵がんを対象とした相同組み換え修復関連遺伝子変異を含む遺伝子検査を用いた前向きコホート研究
(八隅秀二郎、栗田 亮、高 忠之)
- 1 6 Multi-gene Panel を用いた遺伝学的検査の遺伝カウンセリングモデルに関する研究 Ver.1
(八隅秀二郎、栗田 亮、高 忠之)
- 1 7 膵・消化管および肺・気管支・胸腺神経内分泌腫瘍の患者悉皆登録研究
(八隅秀二郎、栗田 亮、高 忠之)
- 1 8 膵上皮内癌の画像・病理所見に関する多施設共同研究
(八隅秀二郎、栗田 亮)
- 1 9 JCS stageⅡ、Ⅲの閉塞性大腸癌における Bridge to Surgery 目的の大腸金属ステン

ト留置例での中長期予後に関する観察研究
(山内淳嗣、渡邊幸太郎、八隅秀二郎)

呼吸器センター 呼吸器外科系

- 1 肺癌における抗腫瘍剤関連バイオマーカーに基づく個別化治療
(黄 政龍、大竹洋介、住友亮太、平井達也)
- 2 悪性縦隔腫瘍におけるバイオマーカーに基づく個別化治療
(黄 政龍、大竹洋介、住友亮太、平井達也)
- 3 癌関連バイオマーカーの *in vivo* 分子イメージングの開発
(黄 政龍、平井達也、櫻井康雄)
- △ 4 Wnt 抑制ベクターによる癌核酸医療の開発
(黄 政龍、住友亮太、平井達也)
- 5 肺癌における新規バイオマーカーの探索
(黄 政龍、住友亮太、平井達也)
- 6 悪性縦隔腫瘍における新規バイオマーカーの探索
(黄 政龍、住友亮太、平井達也)
- 7 肺癌切除例に対する術後補助化学療法を検討
(黄 政龍、大竹洋介、住友亮太、村上裕亮)
- 8 肺葉切除における肺動静脈処理の順序と肺うつ血に関する研究
(住友亮太、黄 政龍、大竹洋介、村上裕亮)
- 9 胸部手術術後疼痛に関する研究
(村上裕亮、黄 政龍、大竹洋介、住友亮太)
- 10 バーチャル気管支鏡ナビゲーションを利用した術前気管支鏡下マーキング
(村上裕亮、黄 政龍、大竹洋介、住友亮太)

腫瘍内科系

- 1 がん化学療法における有害事象に関する臓器横断的研究
(西村貴文)

第 2 研究部 (心、血管、肺、血液、障害研究部)

部長	猪子 森明	(心臓 C 循環器内科)
研究主幹	北野 俊行	(血液内科)
	福井 基成	(呼吸器 C 呼吸器内科)
	渡辺 健	(小児科循環器部門、心臓 C 先天性心疾患部門)
	羽生 道弥	(心臓 C 心臓血管外科)
	春名 徹也	(心臓 C 不整脈科)

血液内科系

- 1 慢性活動性 EB ウイルス感染症に対する同種移植の有効性の検討
(瀧内曜子、柴田 翔)
- 2 難治性高悪性度リンパ腫の治療に関する臨床研究
(田端淑恵、饗庭明子、岡本吉央、柴田 翔、稲野将二郎、瀧内曜子、山本和代、

- 北野俊行)
- 3 重鎖病の病態解明と肺高血圧症に及ぼす影響の研究
(柴田 翔、饗庭明子)
 - 4 TAFRO 症候群と POEMS 症候群と特発性多中心性キャスルマン病との関連性
(柴田 翔、田端淑恵)
 - 5 SBDS 蛋白の機能解析とその異常の Shwachman-Diamond 症候群の病型への影響
(柴田 翔、稲野将二郎)
 - △ 6 ナノポアシーケンサーを用いた急性骨髄性白血病の MRD 追跡
(柴田 翔、稲野将二郎)
 - 7 多発性骨髄腫の治療を妨げる細胞分画の同定
(稲野将二郎)
 - 8 骨髄異形成症候群の進展における miRNA の関与
(稲野将二郎)
 - 9 細胞内蛋白を標的とした分子標的治療の構築
(稲野将二郎)
 - 1 0 Lenalidomide の樹状細胞に対する免疫修飾作用の解析
(山本和代)
 - 1 1 糖尿病患者における血液疾患化学療法の実施に関する研究
(田端淑恵)
 - 1 2 多発性骨髄腫に対する新規薬剤の臨床研究
(田端淑恵、饗庭明子、山本和代、瀧内曜子、稲野将二郎、岡本吉央、柴田 翔、北野俊行)
 - 1 3 骨髄増殖性疾患に対する新規薬剤の臨床研究
(田端淑恵、饗庭明子、山本和代、瀧内曜子、稲野将二郎、岡本吉央、柴田 翔、北野俊行)
 - 1 4 再発難治低悪性度リンパ腫での、ベンダムスチン・リツキシマブ併用療法の予後因子の探索
(北野俊行)
 - 1 5 HLA1 座不適合非血縁者間骨髄移植における従来型 GVHD 予防法と抗ヒト胸腺細胞免疫グロブリン併用 GVHD 予防法の比較研究
(北野俊行、岡本吉央、柴田 翔、稲野将二郎、瀧内曜子、山本和代、田端淑恵、饗庭明子)
 - 1 6 網羅的遺伝子検査を血液腫瘍の診療に役立てるための臨床研究
(岡本吉央、柴田 翔、稲野将二郎、瀧内曜子、山本和代、田端淑恵、饗庭明子、北野俊行)
 - 1 7 中枢神経原発悪性リンパ腫における新規バイオマーカーの同定
(岸本 渉、岡本吉央、柴田 翔、稲野将二郎、瀧内曜子、山本和代、田端淑恵、饗庭明子、北野俊行)

呼吸器センター 呼吸器内科系

【肺癌関係】

- 1 進行・再発非小細胞肺癌患者の腸内細菌叢とニボルマブの治療効果や有害事象との関係についての検討 (KCOG-1615) 多施設共同前向き観察研究

(糸谷 涼、伊元孝光、福井基成)

2 肺癌免疫療法におけるバイオマーカー探索のための前向き観察研究

LC-SCRUM-Japan 附随研究:Immuno-Oncology Biomarker Study

(LC-SCRUM-IBIS)

(伊元孝光、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、宇山倫弘、林 優介、白石祐介、北島尚昌、井上大生、丸毛 聡、福井基成)

3 アジア人の非小細胞肺癌における個別化医療の確立を目指した、遺伝子スクリーニングとモニタリングのための多施設共同前向き観察研究 (LC-SCRUM-Asia)

(伊元孝光、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、宇山倫弘、林 優介、白石祐介、北島尚昌、井上大生、丸毛 聡、福井基成)

【呼吸器感染症関係】

4 肺炎における入院時 **Body Mass Index** と予後との関係についての検討

(井上大生、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、宇山倫弘、林 優介、白石祐介、伊元孝光、北島尚昌、丸毛 聡、福井基成)

5 肺炎におけるプレセプシン測定の有用性に関する検討

(井上大生、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、宇山倫弘、林 優介、白石祐介、伊元孝光、北島尚昌、丸毛 聡、福井基成)

6 Checkerboard 法を用いた *Mycobacterium abscessus* に対する抗菌薬の *in vitro* 併用効果の検討

(白田全弘、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、宇山倫弘、林 優介、白石祐介、伊元孝光、北島尚昌、井上大生、丸毛 聡、福井基成)

7 QFT キット搬入条件と陽性率の関係についての検討

(丸毛 聡、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、宇山倫弘、林 優介、白石祐介、伊元孝光、北島尚昌、井上大生、福井基成)

8 気管支肺胞洗浄液を用いた、**LAMP** 法によるアスペルギルス感染症の診断能力についての検討

(井上大生、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、宇山倫弘、林 優介、白石祐介、伊元孝光、北島尚昌、丸毛 聡、福井基成)

9 気管支肺胞洗浄液を用いた、**LAMP** 法によるニューモシスチス肺炎の診断能力についての検討

(井上大生、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、宇山倫弘、林 優介、白石祐介、伊元孝光、北島尚昌、丸毛 聡、福井基成)

10 非結核性抗酸菌症の重症化予防を目的とした栄養介入実施と新たな栄養指示療法の提案

(高山祐美、北島尚昌、永井成美、福井基成)

【喘息・COPD関係】

11 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) に対する鍼治療を用いた長期予後の検討 (L-CAT)

(鈴木雅雄、福井基成、宇山倫弘、林 優介、白石祐介、北島尚昌、井上大生、丸毛 聡)

12 閉塞性肺疾患の病態に関連した臨床指標に関する研究

(丸毛 聡、松本久子、室 繁郎、北島尚昌、井上大生、福井基成)

13 COPD 患者における COPD アセスメントテストのスコアと臨床症状との検討

(丸毛 聡、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、宇山倫弘、林 優介、白石祐介、

北島尚昌、井上大生、福井基成)

- 1 4 調剤薬剤師主導による吸入指導体制が喘息・COPD 患者および地域医療に及ぼす影響
(丸毛 聡、三井克巳、井戸雅子、小山美鈴、岡部まさえ、福井基成)
 - 1 5 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) における気道好酸球炎症と気道壁肥厚の関連の検討
(前谷知毅、丸毛 聡、菊池悠二郎、山田 翔、林 優介、宇山倫弘、白石祐介、伊元孝光、北島尚昌、井上大生、福井基成)
 - 1 6 気管支喘息患者における下気道粘液栓と好酸球性副鼻腔炎の関連の検討
(林 優介、丸毛 聡、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、宇山倫弘、白石祐介、伊元孝光、北島尚昌、井上大生、福井基成)
 - 1 7 好酸球高値かつ IgE 高値の重症喘息症例での生物学的製剤の効果の検討
(丸毛 聡、前谷知毅、菊池悠二郎、山田 翔、林 優介、宇山倫弘、白石祐介、伊元孝光、北島尚昌、井上大生、福井基成)
 - 1 8 好酸球性肺炎合併喘息における全身ステロイド投与状況の検討
(丸毛 聡、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、林 優介、宇山倫弘、白石祐介、伊元孝光、北島尚昌、井上大生、福井基成)
 - 1 9 本邦リアルワールドでの重症喘息における生物学的製剤の使用実態および効果に寄与する因子の検討 多施設共同研究
(丸毛 聡、林 優介、白石祐介、北島尚昌、福井基成)
 - 2 0 閉塞性気道疾患における胸部 CT 解析の日常臨床応用への可能性に関する多施設共同研究 多施設共同研究
(丸毛 聡、福井基成)
 - 2 1 COPD 患者における NPPV 導入の気腫性変化への影響に関する検討
(前谷知毅、丸毛 聡、菊池悠次郎、山田 翔、林 優介、宇山倫弘、白石祐介、伊元孝光、北島尚昌、井上大生、福井基成)
 - 2 2 慢性呼吸器疾患患者の呼吸運動を cineMRI を用いて定量的に評価する研究
(白石祐介、白石依里香、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、林 優介、宇山倫弘、伊元孝光、北島尚昌、井上大生、丸毛 聡、奥村亮介、福井基成)
- 【びまん性肺疾患関係】
- 2 3 特発性肺線維症における白血球テロメア長と血中バイオマーカーおよび臨床指標の関連についての検討 多施設共同研究
(宇山倫弘、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、林 優介、白石祐介、伊元孝光、北島尚昌、井上大生、丸毛 聡、福井基成)
 - 2 4 間質性肺疾患患者の血液および BAL におけるサイトカインなどの検討
(宇山倫弘、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、丸毛 聡、林 優介、白石祐介、伊元孝光、北島尚昌、井上大生、福井基成)
- △ 2 5 ナノポアシーケンサーを用いた過敏性肺炎患者の環境調査における真菌の同定
(伊元孝光、菊池悠二郎、宇山倫弘、前谷知毅、山田 翔、林 優介、白石祐介、北島尚昌、井上大生、丸毛 聡、福井基成)
- 【呼吸不全関係】
- 2 6 慢性呼吸不全患者に対する包括的呼吸ケアプログラムが身体活動性および健康関連 QOL に及ぼす影響についての検討
(北島尚昌、本田憲胤、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、宇山倫弘、林 優介、白石祐介、伊元孝光、井上大生、丸毛 聡、福井基成)

- 27 在宅酸素療法を必要とする安定期 COPD 患者における長期高流量鼻カニューラ酸素療法に対する有効性及び安全性に関する検討 多施設共同試験
(北島尚昌、井上大生、丸毛 聡、福井基成)
- 28 高二酸化炭素血症および長期非侵襲的人工呼吸療法が肺非結核性抗酸菌症の予後に及ぼす影響についての検討
(北島尚昌、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、宇山倫弘、林 優介、白石祐介、伊元孝光、井上大生、丸毛 聡、福井基成)
- 29 episodic Nocturnal hypercapnia と COPD 増悪についての検討
(北島尚昌、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、宇山倫弘、林 優介、白石祐介、伊元孝光、井上大生、丸毛 聡、福井基成)
- 30 非結核性抗酸菌症における呼吸機能・呼吸筋力と四肢筋肉量との関係についての検討
(北島尚昌、高山祐美、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、宇山倫弘、林 優介、白石祐介、伊元孝光、井上大生、丸毛 聡、福井基成)
- 31 高齢者に対する長期非侵襲的人工呼吸療法についての検討
(北島尚昌、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、宇山倫弘、林 優介、宇山倫弘、白石祐介、伊元孝光、井上大生、丸毛 聡、福井基成)

小児科循環器／心臓 C 先天性心疾患系

- 1 インスタントメッセンジャーおよびクラウドを用いた心エコー遠隔診療支援システムの構築
(渡辺 健)

心臓センター 循環器内科、不整脈科系

- 1 心不全患者の運動療法における予後調査
(中根英策、福田弘毅、猪子森明)
- 2 慢性心房細動例において、運動耐容能の評価が治療方針決定につながる可能性
(春名徹也、中根英策、張田健志)
- 3 心房細動に対するアブレーションの長期成績向上を目的とした薬学的アプローチ
及レジストリ (KPAF study)
(春名徹也、張田健志、臨床工学部)
- 4 冠血行再建術による心血管イベントリスクの減少効果を負荷心筋血流 SPECT を用いた
虚血量定量で評価するための調査研究 (J-ACCESS IV)
(春名克純、加藤貴雄)
- 5 血中・心嚢液中マイクロ RNA の生理学的意義の検討
(宮本昌一、猪子森明)
- 6 心臓除細動器植え込み症例における遠隔モニタリングシステムの運用の意義
(春名徹也、張田健志、臨床工学部)
- 7 大動脈弁狭窄症患者に対する治療法選択とその予後を検討する多施設前向きコホート
研究 (CURRENT-AS Study-2)
(猪子森明、加藤貴雄、春名徹也、春名克純、山地雄平、中根英策、福田弘毅、
矢野真理子、張田健志、濱口桃香、平間大介、古市吉真、羽生道弥)
- 8 慢性冠動脈疾患患者におけるイコサペント酸エチルの二次予防効果の検討
(RESPECT-EPA)

- (宮本昌一、猪子森明)
- 9 日本における急性うっ血性心不全入院患者の多施設レジストリ及び前向きコホート研究 - **Kyoto Congestive Heart Failure (KCHF) Study** -
(中根英策、加藤貴雄、春名克純、山地雄平、春名徹也、張田健志、福田弘毅、矢野真理子、濱口桃香、平間大介、古市吉真、羽生道弥、猪子森明)
- 1 0 脂質異常症患者における内皮機能 [Endo-PAT]、アルブミン尿に対する EPA 製剤 (エパデール) と EPA・DHA 製剤 (ロトリガ) の効果に関する研究
(宮本昌一、猪子森明)
- 1 1 心不全増悪早期に外来受診行動を可能にする新たな心不全自己管理用紙による心不全再入院防止の効果の検討
(中根英策、猪子森明、加藤貴雄、春名徹也、春名克純、山地雄平、福田弘毅、矢野真理子、濱口桃香、張田健志)
- 1 2 血行再建術困難下肢閉塞性動脈硬化症に対する末梢血単核球細胞分画移植による血行再建術：先進医療 B としての臨床運用
(春名徹也、猪子森明、腎臓内科：垣田浩子、塚本達雄)
- 1 3 心臓同期療法治療選択における擬似両室ペーシングと即時左室内圧測定の有用性
(春名徹也、張田健志、臨床工学部)
- 1 4 心電図異常の臨床的意義について～心エコー所見との比較～
(加藤貴雄、猪子森明)
- 1 5 急性大動脈解離や胸部大動脈瘤破裂および未破裂胸部大動脈瘤における心嚢液中 **Granulocyte-Conlony Sitmulating Facter** 濃度や同組織染色における発現レベルの比較検討
(宮本昌一、羽生道弥、猪子森明)
- 1 6 多施設共同研究 **STOPDAPT-2 (ShorT and OPTimal duration of Dual Anti Platelet Therapy-2 study)**：エベロリムス溶出性コバルトクロムステント (**XIENCE**) 留置後の抗血小板剤 2 剤併用療法期間を 1 ヶ月に短縮することの安全性を評価する研究
(山地雄平、春名克純、張田健志、中根英策、春名徹也、福田弘毅、矢野真理子、濱口桃香、猪子森明)
- 1 7 多施設共同研究 **CREDO-Kyoto 3 (Coronary REvascularization Demonstrating Outcome Study in Kyoto)** 追跡調査：日本における経皮的冠動脈インターベンション (PCI) および冠動脈バイパス手術 (CABG) のレジストリ・多施設による冠動脈疾患血行再建術後の長期成績・予後調査コホート 3
(猪子森明、山地雄平、張田健志、春名克純、中根英策、福田弘毅、矢野真理子、濱口桃香、春名徹也)
- 1 8 **HFrEF** 患者に対する心不全入院および心血管死に対する **LCZ696** の有効性と安全性をレニベースと比較検討する多施設共同、ランダム化、二重盲検、並行群間、実薬対象比較試験
(猪子森明、中根英策、山地雄平、春名克純、福田弘毅、矢野真理子、濱口桃香、春名徹也)
- 1 9 バイエル薬品株式会社の依頼による下肢血行再建術施行後の症候性末梢動脈疾患患者を対象とした重大な血栓性血管イベントの発現リスクの低減におけるリバーロキサバンの有効性及び安全性を検討する国際共同、多施設共同、無作為化、二重盲検、プラセボ対照第Ⅲ相試験 (**VOYAGER PAD** 試験)

- (猪子森明、中根英策、山地雄平、福田弘毅、矢野真理子、濱口桃香、春名克純、春名徹也)
- 2 0 非弁膜症性心房細動を有する後期高齢患者を対象とした前向き観察研究
企業主導多施設共同研究 (All Nippon AF In Elderly Registry -ANAFIE Registry-)
(猪子森明、春名徹也、中根英策、張田健志、山地雄平、福田弘毅、矢野真理子、濱口桃香、春名克純)
- 2 1 心房細動合併急性冠症候群患者における抗血栓治療後の出血と血栓リスクに関する前向き観察多施設共同研究 (STAR-ACS)
(猪子森明、中根英策、山地雄平、春名克純、福田弘毅、矢野真理子、濱口桃香、張田健志、春名徹也)
- 2 2 慢性心不全を合併した冠動脈疾患患者にイグザレルト群とプラセボの無作為化、二重盲検試験安全性とイベントに対する有効性を検討 (COMMANDER)
(猪子森明、春名徹也、中根英策、山地雄平、福田弘毅、矢野真理子、濱口桃香、春名克純)
- 2 3 閉塞性動脈硬化症に伴う間欠性跛行を対象とした NS-304 の後期第Ⅱ相試験
(猪子森明、春名徹也、中根英策、山地雄平、福田弘毅、矢野真理子、濱口桃香、春名克純)
- 2 4 トホグリフロジンの安全性および有効性の検討 前向き観察研究 (Assessment of safetY and effectiveness: the clinical Use of tofogliflozin in patients with type2 diabetes Mellitus -AYUMI-)
(猪子森明、春名徹也、中根英策)
- 2 5 難治性心房頻拍及び心房細動を対象としたマーシャル静脈に対するケミカルアブレーションを用いた探索的介入研究
(春名徹也、張田健志)
- 2 6 心臓 MRI による co-existing AF and heart failure の病態評価と積極的洞調律化の妥当性の判定
(春名徹也、張田健志)
- 2 7 持続性心房細動例における積極的洞調律化の妥当性を心房細動適応現象から判定する。
(春名徹也、張田健志)
- 2 8 持続性心房細動例の洞調律直後の血行動態から、リバーズリモデリングを推定する
(春名徹也、張田健志、生理検査部)
- 2 9 静脈血栓塞栓症における非ビタミン K 阻害経口抗凝固薬治療の前向き追跡多施設共同研究 (KUROSION study)
(猪子森明、春名徹也、中根英策、張田健志、山地雄平、福田弘毅、矢野真理子、濱口桃香、春名克純)
- 3 0 開心術患者の心嚢液中サイトカインや細胞外マトリックス蛋白測定における臨床的意義の検討
(宮本昌一、羽生道弥、猪子森明)
- 3 1 開心術患者の心嚢液中 G-CSF 測定における臨床的意義の検討
(宮本昌一、羽生道弥、猪子森明)
- 3 2 開心術患者の心嚢液中 Troponin T 測定における臨床的意義の検討
(宮本昌一、羽生道弥、猪子森明)
- 3 3 開心術患者の心嚢液中 NT-proBNP と TroponinT 測定における左室機能や生命予後に

- 関する臨床的意義の検討
(宮本昌一、羽生道弥、猪子森明)
- 3 4 開心術患者の心嚢液中ケモカイン測定における臨床的意義の検討
(宮本昌一、羽生道弥、猪子森明)
- 3 5 Atrial Functional Mitral Regurgitation (AFMR) の機序および AFMR に対する心
房細動の影響に関する研究
(林 秀幸、矢野真理子、猪子森明、張田健志、春名徹也)
- 3 6 僧帽弁閉鎖不全症に伴う肺動脈楔入圧上の v 波の意義に関する研究
(林 秀幸、猪子森明、張田健志、濱口桃香、矢野真理子、春名徹也)
- 3 7 急性大動脈解離の治療の際の抗血栓療法継続の是非についての研究
(濱口桃香、宮本昌一、羽生道弥、猪子森明)
- 3 8 心不全 Frailty の予後予測妥当性と心臓リハビリテーション効果に関する研究
(上坂健太、中根英策、猪子森明)
- 3 9 急性冠症候群に対するエベロリムス溶出性コバルトクロムステント留置後の抗血小板
剤 2 剤併用療法 (DAPT) 期間を 1 ヶ月に短縮することの安全性を評価する研究
(STOPDAPT-2 ACS)
(山地雄平、福田弘毅、濱口桃香、矢野真理子、中根英策、春名克純、猪子森明)
- 4 0 心不全医療の適正化に資するための全国規模データベースによるエビデンスの創出
PREDICTing long-term clinical outcomes by Optical coherence tomography
assessments of plaque characteristics of irRegularities coronary artery
[PREDICTOR Study] (非血行再建冠動脈における光干渉断層撮影法評価による長期
臨床成績の予測)
(山地雄平、猪子森明)
- 4 1 心房細動合併患者における冠動脈インターベンション施行後の抗血栓療法の実態調査
(REVEAL AF-PCI Registry)
(春名克純、猪子森明)
- 4 2 レセプトおよび DPC データを用いた循環器疾患における医療の質に関する研究
(森田雄介、猪子森明)
- 4 3 繰返し入院する慢性心不全患者を対象とした ASV 治療の予後に関する前向き観察研
究 –SAVIOR-L–
(中根英策、猪子森明)
- 4 4 入院期心不全患者に対する集団疾病管理指導による心不全再入院予防効果の検討
(上坂健太、中根英策、猪子森明)
- 4 5 EMPEROR-Preserved (EMPagliflozin outcomE tRial in patients with chrOnic
heaRt failure : 左室駆出率の保たれた慢性心不全の患者を対象にしたエンパグリフロ
ジンのアウトカム試験)
(猪子森明、山地雄平、春名克純、張田健志、中根英策、福田弘毅、矢野真理子、
濱口桃香、春名徹也)
- 4 6 EMPEROR-reduced (EMPagliflozin outcomE tRial in patients with chrOnic heart
failure : 左室駆出率の低下した慢性心不全の患者を対象にしたエンパグリフロジンの
アウトカム試験)
(猪子森明、山地雄平、春名克純、張田健志、中根英策、福田弘毅、矢野真理子、
濱口桃香、春名徹也)

- 4 7 至適な血管内超音波ガイド経皮的冠動脈インターベンションの複雑性病変における臨床経過を評価する前向き観察研究 (OPTIVUS-Complex PCI) (山地雄平、猪子森明)
- 4 8 非弁膜症性心房細動を合併する冠動脈インターベンション施行患者の経口抗凝固薬と抗血小板薬の至適併用療法：オープンラベル、多施設、前向き、無作為比較試験 (OPTIMA-AF trial)
(山地雄平、猪子森明)
- 4 9 大腿膝窩動脈病変を有する症候性閉塞性動脈硬化症患者に対する薬剤溶出性バルーンを用いた末梢血管内治療に関する多施設前向き研究 (POPCORN)
(山地雄平、猪子森明)
- 5 0 多臓器マルチオミクスによる代謝恒常性ネットワークの解明
(森田雄介、猪子森明)
- 5 1 本邦の経皮的冠動脈インターベンション治療における心房細動の頻度と傾向の検討
(森田雄介、猪子森明)
- 5 2 本邦の非心臓手術における周術期心筋梗塞の頻度と傾向の検討
(森田雄介、猪子森明)
- 5 3 レセプトおよび DPC データを用いた循環器疾患における医療の質に関する研究
(猪子森明、山地雄平、春名克純、張田健志、中根英策、福田弘毅、矢野真理子、濱口桃香、春名徹也)
- 5 4 癌合併の下腿限局型深部静脈血栓症に対する最適な抗凝固療法の投与期間を検証する研究 (ONCO DVT Study)
(猪子森明、山地雄平、春名克純、張田健志、中根英策、福田弘毅、矢野真理子、濱口桃香、春名徹也)
- 5 5 本邦の経皮的冠動脈インターベンション治療における心房細動の傾向と影響の検討
(猪子森明、山地雄平、春名克純、張田健志、中根英策、福田弘毅、矢野真理子、濱口桃香、春名徹也)
- 5 6 急性冠症候群に対するエベロリムス溶出性コバルトクロムステント留置後の抗血小板剤 2 剤併用療法 (DAPT) 期間を 1 ヶ月に短縮することの安全性を評価する研究 (STOPDAPT-2 ACS) 心アミロイドーシス患者の臨床的特徴と予後を検討する多施設前向きコホート研究 (CAPTURE-AMYLOID)
(猪子森明、山地雄平、春名克純、張田健志、中根英策、福田弘毅、矢野真理子、濱口桃香、春名徹也)
- 5 7 大阪心不全地域連携の会 (Osaka Stops HEart Failure, OSHEF) の心不全地域連携パスの導入例における心不全再入院回避率および回避例・非回避例
(猪子森明、山地雄平、春名克純、張田健志、中根英策、福田弘毅、矢野真理子、濱口桃香、春名徹也)
- 5 8 入院期心不全患者に対する集団疾病管理指導による心不全再入院予防効果の検討
(猪子森明、山地雄平、春名克純、張田健志、中根英策、福田弘毅、矢野真理子、濱口桃香、春名徹也)
- ※ 5 9 AMED 研究 在宅心不全患者の再入院を回避する革新的 ICT 遠隔モニタリング環境の有用性の検証 (ITMETHOD-HF2)
(猪子森明、山地雄平、春名克純、張田健志、中根英策、福田弘毅、矢野真理子、濱口桃香、春名徹也)

心臓センター 心臓血管外科系

- 1 冠動脈バイパス術におけるグラフト評価としての **Transit flow meter** の有用性
(平間大介、羽生道弥)
- 2 内視鏡を用いた大伏在静脈グラフト採取の利点と欠点
(平間大介、羽生道弥)
- 3 **Cryo ablation** による肺静脈隔離の遠隔期成績
(平間大介、森島 学)
- 4 オフポンプバイパス術とオンポンプバイパス術の選択の妥当性
(平間大介、羽生道弥)
- 5 感染性心内膜炎の至適手術時期の検討
(平間大介、羽生道弥)
- 6 総大腿動脈病変に対する内膜摘除術の遠隔予後
(平間大介、羽生道弥)
- 7 心臓手術術前 **MRI** による頭部評価は術後脳合併症の発症抑制に繋がる
(羽生道弥、森島 学)
- 8 中等度の僧帽弁閉鎖不全症への手術介入の遠隔期予後
(平間大介、羽生道弥)

臨床工学系

- △ 1 乾燥保存臓器の再細胞化と移植に関する研究：小口径人工血管の開発
(石野直明)

第 3 研究部 (代謝、消化栄養、体液平衡障害研究部)

部長	濱崎 暁洋	(糖尿病内分泌内科)
研究主幹	塚本 達雄	(腎臓内科)
	本庶 祥子	(栄養部)

糖尿病内分泌内科系

- 1 内分泌代謝疾患の新規バイオマーカーの探索
(岩崎順博、岩崎可南子、吉治智志、境内大和、瀬野陽平、本庶祥子、濱崎暁洋)
- 2 遺伝性内分泌代謝疾患診断のための遺伝子解析研究
(岩崎順博、吉治智志、岩崎可南子、阿部 恵、境内大和、瀬野陽平、本庶祥子、濱崎暁洋)
- 3 代謝内分泌疾患の病態生理解明と治療効果検討のための観察研究
(岩崎順博、吉治智志、岩崎可南子、阿部 恵、境内大和、瀬野陽平、本庶祥子、濱崎暁洋)
- 4 ステロイド使用時の耐糖能悪化時のインクレチン関連薬治療に関する研究
(吉治智志)
- 5 原発性アルドステロン症の診断および治療経過における心血管・臓器障害の進行とリンパ球・サイトカインプロファイルの関連探索研究
(本庶祥子、濱崎暁洋)
- 6 糖尿病と癌の発症についての後方視的研究

- (本庶祥子)
- 7 糖尿病患者における膵癌発生の前向き観察研究 (消化器内科との共同研究)
(本庶祥子、濱崎暁洋)
 - 8 高齢者糖尿病患者におけるサルコペニアの評価と介入に関する研究
(本庶祥子、角田晃啓)
 - 9 糖尿病入院患者の運動状況・心理・社会背景とのかかわり、体格・体組成とサルコペニアの関連の研究
(角田晃啓)
- △ 1 0 高齢者の生活自立に資する身体機能維持に必要な栄養素代謝環境の病態生理学的解明
濱崎暁洋、角田晃啓、本庶祥子)
(科学研究費助成事業申請 濱崎暁洋)
- 1 1 ソマトスタチンアナログ製剤投与時の膵・腸管内分泌修飾と耐糖能異常の研究
(阿部 恵、本庶祥子、濱崎暁洋)
 - 1 2 下垂体腫瘍の臨床的特徴と発現因子の免疫組織学的解析
(阿部 恵、本庶祥子、濱崎暁洋)
 - 1 3 内分泌腫瘍による膵・腸管内分泌修飾の解析
(阿部 恵、岩崎可南子、濱崎暁洋)
 - 1 4 糖尿病状態における味覚・消化管ホルモン分泌についての検討
(岩崎可南子)
- 1 5 マイクロRNAの網羅的解析による2型糖尿病の個別化食事療法の推進
(岩崎可南子、岩崎順博)
(科学研究費助成事業 若手研究)
- 1 6 先端巨大症の治療と耐糖能修飾に関する検討
(本庶祥子、阿部 恵)
 - 1 7 抗GAD抗体陽性患者の臨床的特徴に関する検討
(河崎祐貴子、本庶祥子、阿部 恵、濱崎暁洋)
 - 1 8 甲状腺機能の代謝修飾に関する検討
(河崎祐貴子、本庶祥子、濱崎暁洋)
 - 1 9 血漿マイクロRNAプロファイルを用いた糖尿病患者における癌早期スクリーニング法の確立
(岩崎順博)
(武田科学振興財団医学系研究助成 岩崎順博)
- 2 0 免疫系における高血糖毒性の分子基盤解明とその糖尿病診療への応用
(岩崎順博)
(科学研究費助成事業 若手研究)
- 2 1 妊娠時耐糖能異常症例に対する介入効果の研究
(博多恵美、増田有美、古河てまり、山内亜耶、中山法子)
 - 2 2 糖尿病教育入院患者における糖尿病の身体的側面と治療行動的側面、心理社会的側面の関連についての検討
(大家聡樹)
 - 2 3 インスリン自己注射手技の適切な再教育による血糖コントロール改善の探索的調査
(日本ベクトンディッキンソン社と共同研究)
(越井由佳子、竹内麻衣、本庶祥子、境内大和、瀬野陽平、岩崎可南子、岩崎順博、

濱崎暁洋)

- 2 4 全科型糖尿病診療サポートチームの多面的効果に関する検討
(竹内麻衣)
- 2 5 自己血糖測定患者における測定機器の特性とその有用性の評価に関する研究
(中山法子)
- 2 6 副腎腫瘍の病理学的特性に関する検討
(岡村絵美、本庶祥子、濱崎暁洋)
- 2 7 耐糖能障害発現機序における Asprosin の意義の検討
(徳本信介、濱崎暁洋)
- 2 8 膵島機能・量を修飾する因子の多面的解析
(岡村絵美、本庶祥子、濱崎暁洋)
- 2 9 SGLT2 阻害薬の血糖値改善効果と内分泌修飾に関する検討
(和田良春)
- 3 0 インスリン分泌と感受性、インクレチン作用の定量的評価
(濱崎暁洋)
- 3 1 日常診療環境において持続的運用が可能なデータベースとその統合についての検討
(濱崎暁洋)
- 3 2 糖尿病患者の水痘ウイルス免疫に関する研究 (感染症科と共同研究)
(本庶幸子、阿部 恵、濱崎暁洋)
- 3 3 医療データを用いた内分泌代謝疾患の治療解析に関する研究 (京都大学と共同研究)
(濱崎暁洋)
- 3 4 医療データからの診療行為の時系列的再構築に関する研究 (京都大学と共同研究)
(濱崎暁洋)
- 3 5 グルカゴン分泌修飾におけるインクレチンの役割の解明
(濱崎暁洋)
- 3 6 腸内環境と内分泌・代謝修飾連関の解明に関する研究
(濱崎暁洋)
- △ 3 7 甲状腺中毒症を伴う新規 RASopathy の分子病態基盤の包括的解明
(境内大和)

腎臓内科系

1 厚生労働省科学研究費補助金事業・AMED 関連事業

1-1 厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患政策研究事業) 「難治性血管炎に関する調査研究」

(研究協力者; 塚本達雄、遠藤知美、武曾恵理、猪原登志子)

- ・抗好中球細胞質抗体 (ANCA) 関連血管炎・急速進行性糸球体腎炎の寛解維持療法の現状とその有効性と安全性に関する観察研究 (Co-RemIT-JAV・RPGN)
- ・好中球細胞質抗体関連血管炎関連遺伝子に関する研究 (RemIT-JAV、RemIT-JAV-RPGN との連携)
- ・高安動脈炎と巨細胞性動脈炎の治療の現状とその有効性と安全性に関する観察研究
- ・大型血管炎 (高安動脈炎と巨細胞性動脈炎) の診断・治療の現状と有効性に関する前向き観察研究
- ・AAV における腎組織病変とサイトカインプロファイルの相関研究

(RemIT-JAV-RPGN 公募二次研究)

- ・血管炎病理診断コンサルテーション事業；武曾恵理
- ・抗好中球細胞質抗体関連血管炎を対象とした国際共同臨床試験の調整事務局機能構築に関する研究
- ・本邦における抗好中球細胞質抗体関連血管炎に対するリツキシマブ療法の安全性と有効性に関するコホート研究 (RemIRIT)

1-2 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業 (難治性疾患政策研究事業)「難治性腎障害に関する調査研究」ネフローゼ症候群ワーキンググループ
(研究協力者；塚本達雄)

- ・日本ネフローゼ症候群コホート研究 (JNSCS) および延長研究 (JNSCS-Ex)
- ・日本膜性増殖性糸球体腎炎/C3 腎症コホート研究
- ・成人期発症の難治性のネフローゼ症候群 (頻回再発型あるいはステロイド依存性) 患者に対する IDEC-C2B8 の有効性及び安全性を確認する臨床第 III 相試験
- ・指定難病臨床個人調査票のデータベース活用に関する研究

1-3 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業「難治性腎疾患に関する調査研究」急速進行性糸球体腎炎ワーキンググループ、厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業「難治性疾患政策研究事業」
(研究協力者；塚本達雄、武曾恵理)

- ・ANCA 関連血管炎・RPGN の寛解導入の現状とその有効性と安全性に関する観察研究 (RemIT-JAV-RPGN 公募二次研究)

1-4 日本医療研究開発機構 (AMED) 研究 (研究協力者；塚本達雄、遠藤知美)

- ・日本ネフローゼ症候群バイオマーカー研究 (J-MARINE)

2 共同研究・受託研究

- ・わが国の腎臓病疾患における腎生検データベース構築ならびに腎臓病総合データベース構築に関する研究 (J-RBR、J-CKD-DB)

(武曾恵理、遠藤知美、垣田浩子、塚本達雄)

- ・成人ループス腎炎の予後に関する観察研究 (J-RBR 公募二次研究)
(遠藤知美、武曾恵理、垣田浩子、塚本達雄、リウマチ膠原病内科；藤田昌昭、井村嘉孝)
- ・腹膜透析の患者予後と治療方法についての調査, 2017-2020 (DOPPS2)
(塚本達雄)
- ・ヨーロッパと本邦における IgA 腎症の臨床的特徴の比較調査研究
(塚本達雄、遠藤知美)
- ・抗原特異的測定法による ANCA 検査の評価：小型血管炎における ANCA 検査の 2017 年国際合意の改訂を検証するための多施設共同前向き研究
(塚本達雄、遠藤知美)
- ・嚢胞性腎疾患における遺伝的背景と臨床所見および病理所見の関係
(塚本達雄)
- ・ミトコンドリア病関連腎疾患の全国調査
(塚本達雄)
- ・透析患者における $\alpha 1$ -microglobulin 除去率が生存・合併症予後に与える影響の検討
(塚本達雄)
- ・PD 患者指導における日本の実態調査

(塚本達雄)

3 企業治験 (責任医師、分担医師)

- ・糖尿病性腎臓病 (DKD) と臨床診断された 2 型糖尿病患者における腎疾患の進行に関して、標準治療に上乗せした **finerenone** の有効性及び安全性を検討する多施設共同、無作為化、プラセボ対照、二重盲検、並行群間、イベント主導型試験 (バイエル薬品株式会社)

(塚本達雄、垣田浩子、遠藤知美、武曾恵理)

- ・ループス腎炎患者を対象として **Voclosporin (23.7mg 1 日 2 回)** の長期安全性及び有効性をプラセボと比較する、無作為化、比較対照二重盲検継続試験 (**Aurinia Pharmaceuticals Inc.** (治験国内管理人) シミック株式会社)

(塚本達雄、リウマチ: 井村嘉孝、藤田昌昭、中島俊樹)

- ・アルポート症候群患者を対象としたバルドキシロンメチルの有効性及び安全性を検討する第 2/3 相試験 (株式会社 **Integrated Development Associates**)

(塚本達雄、垣田浩子、遠藤知美)

- ・慢性腎臓病患者における腎アウトカム及び心血管死に対するダンパグリフロジンの効果を検討する試験 (アストラゼネカ株式会社)

(塚本達雄、垣田浩子、遠藤知美、糖尿病: 濱崎暁洋、本庶祥子、岩崎順博、吉治智志、池田弘毅、岩崎可南子)

- ・糖尿病性腎臓病患者を対象としたプラセボ対照ランダム化二重盲検比較試験 (協和発酵キリン株式会社)

(塚本達雄、垣田浩子、遠藤知美)

- ・原発性 **IgA** 腎症患者を対象とした、**LNP023** の有効性及び安全性を検討する、アダプティブ・シームレス、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照、用量設定試験 (ノバルティスファーマ株式会社)

(塚本達雄、垣田浩子、遠藤知美)

4 臨床研究

- ・ANCA 関連血管炎患者の腎生検病理所見における、長期腎予後予測に有用なパラメーター検索と評価法の検討

(遠藤知美)

- ・透析用カテーテルの機能不全およびカテーテル関連感染症に関する研究

(塚本達雄)

- ・慢性維持透析患者におけるがん診療に関する多施設共同観察研究

(塚本達雄)

- ・血液透析患者への定期的静注鉄補充によるヘモグロビン・サイクリングとエリスロポイエチン反応性に関する研究

(塚本達雄)

- ・横紋筋融解症の発症に関連するバイオマーカーの探索研究

(塚本達雄、林 綾乃)

- ・腎臓疾患および体液制御の異常に関わる危険遺伝子および遺伝子変異の同定

(塚本達雄、遠藤知美)

- ・慢性腎臓病地域連携診療におけるアウトカム分析

(塚本達雄)

- ・HDL 機能と腎疾患との関連についての観察研究

- (塚本達雄、武曾恵理)
- ・「LDL-A による難治性ネフローゼ症候群寛解誘導の免疫学的機序の解明」
(垣田浩子、武曾恵理)
- ・IgA 腎症の EPA+Aspirin 療法の有効性
(遠藤知美、垣田浩子、塚本達雄)
- ・IgA 腎症におけるメサングウム C4 沈着意義の検討
(鳥越和雄、武曾恵理、遠藤知美、垣田浩子、塚本達雄)
- ・SGLT2 阻害薬の腎機能の低下した DM 腎症に対する有効性と安全性
(塚本達雄)
- ・VINCENT で測定した多発性嚢胞腎体積の推移・トルバプタン効果・腎不全進行の検証
(林 綾乃)
- ・高齢発症 ANCA 関連血管炎患者の寛解導入における免疫抑制剤併用の有効性と安全性
(塚本達雄)
- ・京都大学医学部附属病院腎臓内科関連病院腎疾患データベース構築に関する観察研究
(塚本達雄)
- ・末期腎不全期の多発性嚢胞腎に対するコイル塞栓療法と長期予後に関する研究
(塚本達雄)
- ・末梢動脈疾患に対する血管再生治療に関する研究
(塚本達雄)

栄養部系

- 1 非結核性抗酸菌症の重症化予防を目的とした栄養介入実施と新たな栄養支持療法の提案
(高山祐美、永井成美、北島尚昌、福井基成)
- 2 胃癌周術期の栄養療法に関する検討
(黒川典子、巽 絢子、名倉成美)
- 3 SCU における経腸栄養プロトコル導入後の効果
(京面ももこ)
- 4 ICU-AW が自宅退院時の食事摂取に及ぼす影響
(京面ももこ)
- 5 腸管切除部位が腸内細菌叢および栄養代謝に及ぼす影響
(京面ももこ)
- 6 脾全摘術後患者における周術期および術後の栄養管理介入の有用性
(巽 絢子)
- 7 消化器系癌に対する栄養管理介入の有用性
(巽 絢子)

第 4 研究部 (免疫、アレルギー、感染、病理研究部)

部長	井村 嘉孝	(リウマチ膠原病内科)
研究主幹	吉川 義顕	(皮膚科)
	弓場 吉哲	(病理診断科)
	羽田 敦子	(小児科・感染症科)

リウマチ・膠原病内科系

- 1 インテグリン制御による新規抗リウマチ薬・抗炎症薬の開発
(藤田昌昭)
- 2 生物学的製剤使用関節リウマチ患者の長期安全性研究 (SECURE 研究)
--- 多施設共同研究
(井村嘉孝)
- 3 抗アミノアシル tRNA 合成酵素抗体測定のための OJ 抗原精製と測定系の確立
(井村嘉孝)
- 4 抗 MDA5 陽性間質性肺炎合併皮膚筋炎に対する 3 剤併用療法プロトコルの有用性と安全性の検討 --- 多施設共同研究
(井村嘉孝)
- 5 広域抗菌薬使用による腸内細菌叢への影響の検討
(辻本孝平)
- 6 単量体 CRP の検出及び単量体 CRP 制御による新規抗炎症剤の開発
(藤田昌昭)
- 7 全身性エリテマトーデスにおける SOCS1 の役割の解明と治療への応用
(高橋令子)
- 8 ラパマイシンによる全身性エリテマトーデスの病態制御のメカニズムの解明
(高橋令子)
- 9 病気再燃防止を目的とした全身性エリテマトーデス患者の臨床像に関する観察研究
(高橋令子)
- 1 0 関節リウマチを対象とした日常診療下におけるサリルマブの前向き観察研究
(PROFILE-J) --- 多施設共同研究
(井村嘉孝)
- 1 1 メトトレキサート (MTX) 関連リンパ増殖性疾患の病態解明のための多施設共同研究 --- 多施設共同研究
(井村嘉孝)
- 1 2 メトトレキサート (MTX) 関連リンパ増殖性疾患発症予測因子の同定
--- 多施設共同研究
(井村嘉孝)

皮膚科系

- 1 乾癬および掌蹠膿疱症における生物学的製剤使用を基盤とした集学的治療の有用性評価と最適化に関する研究
(吉川義顕、一ノ名晶美、山上優奈、足立英理子、古賀玲子)
- 2 円形脱毛症における標準的治療の最適な介入時期とアウトカムに関する研究
(吉川義顕、一ノ名晶美、山上優奈、足立英理子)

- 3 蕁麻疹の標準的治療と臨床的効果に関する研究
(吉川義顕、一ノ名晶美、山上優奈、足立英理子、古賀玲子)
- 4 アトピー性皮膚炎における標準的治療の有効性の臨床的評価方法に関する研究
(吉川義顕、一ノ名晶美、山上優奈、足立英理子、古賀玲子)

病理診断科系

- 1 膝液細胞診の精度向上のための検討
(仲村佳世子、萩原葉子、弓場吉哲)
- 2 悪性中皮腫診断のための酵素抗体法パネルの検討
(弓場吉哲)
- 3 EUS-FNA における細胞診と組織診との整合性について
(弓場吉哲)
- 4 婦人科細胞診における LBC と従来法の比較検討
(西岡千恵子、仲村佳世子、弓場吉哲)

感染症科系

- 1 ワクチンによる糖尿病患者における水痘帯状疱疹ウイルス特異的免疫反応の検討
(文部科学省科学研究費補助金事業)
(羽田敦子、糖尿病内分泌内科 濱崎暁洋、本庶祥子、河崎祐貴子、瀬野陽平)
- 2 当院の ESBL 臨床分離株の検討～当院における 2004 年と 2017 年の ESBL 産生大腸菌の比較
(中塚由香利、宇野将一、小林賢治、羽田敦子)
- 3 水痘抗原皮内テストと IFN- γ アッセイの水痘帯状疱疹ウイルス特異的免疫反応の
相関分析
(羽田敦子、榊原敦子、渡邊 武、小林由佳、兵庫医科大学 奥野壽臣、
姫路獨協大学 片山俊郎)
- 4 糖尿病等の免疫低下時における帯状疱疹予防のための水痘ウイルス特異的免疫反応の
検討
(羽田敦子、渡邊 武、小林由佳、榊原敦子、濱崎暁洋、浜本芳之、本庶祥子、
河崎祐貴子、兵庫医科大学 奥野壽臣、姫路獨協大学 片山俊郎)
- 5 メロペネム、タゾバクタム/ピペラシリン、セフトリアキソンの排便回数に対する影響
(辻本考平、片山俊郎、羽田敦子)
- 6 妊婦 GBS スクリーニング法改変による新生児侵襲性 GBS 感染症への影響 (全国調査)
(羽田敦子、辻本考平、中塚由香利、水本 洋、加藤健太郎、秦 大資)
- 7 広域抗菌薬使用による腸内細菌叢への影響の検討
(©辻本考平、大橋倫子、羽田敦子) (平成 29 年度第 2 回きたの研究奨励金研究)
- 8 質量分析装置にて同定可能となった *Exophiala dermatitidis* の 1 症例
(中塚由香利、宇野将一、小林賢治、羽田敦子)
- 9 専任体制による Antimicrobial Stewardship Team 活動が広域抗菌薬の使用量および
緑膿菌の耐性率に及ぼす影響の評価
(小林和博、上田 覚、高橋 有、羽田敦子、尾上雅英)
- 10 AST の年間活動か臨床医の抗菌薬選択に及ぼす影響評価の一考案
(上田 覚、高橋 有、小林和博、羽田敦子、尾上雅英)

- 1 1 メソトレキセート内服を契機に発症したリステリア髄膜炎による脳神経障害の検討
(内原嘉仁、山本昌義、藤田昌昭、羽田敦子)
- △ 1 2 帯状疱疹発症予防に必要な免疫能の検討
(羽田敦子)

検査部系

- 1 質量分析装置導入による細菌検査の迅速化の検討
(宇野将一、中塚由香利、小林賢治、鋸本 遙、土屋咲子、藤森舞子、羽田敦子、前田記代子)
- 2 細菌検査システムの構築と運用
(宇野将一、中塚由香利、小林賢治、鋸本 遙、土屋咲子、藤森舞子、前田記代子)
- 3 微生物検査室からの情報発信の有用性
(宇野将一、中塚由香利、小林賢治、鋸本 遙、土屋咲子、藤森舞子、前田記代子)
- 4 臨床分離株における基質特異性拡張型 B ラクタマーゼ (ESBL) 産生大腸菌の MIC 分布に関する研究
(中塚由香利、宇野将一、小林賢治、鋸本 遙、土屋咲子、藤森舞子、前田記代子)
- 5 Loopamp Aspergillus F Detection Kit の基礎性能評価
(中塚由香利、宇野将一、小林賢治、鋸本 遙、土屋咲子、藤森舞子、前田記代子)
- 6 GBS 増菌培地とラテックス凝集法を併用した GBS スクリーニング検査法の臨床性能評価の研究
(中塚由香利、宇野将一、小林賢治、鋸本 遙、土屋咲子、藤森舞子、前田記代子)
- 7 マイクロスキャン PosCombo2T パネルの基礎性能に関する検討
(中塚由香利、宇野将一、小林賢治、鋸本 遙、土屋咲子、藤森舞子、前田記代子)
- 8 Gene Xpert MTB/RIF 「セフィエド」の基礎性能に関する検討
(小林賢治、宇野将一、中塚由香利、鋸本 遙、土屋咲子、藤森舞子、前田記代子)

第 5 研究部 (精神、神経、感覚、運動器障害研究部)

部長	松本 禎之	(神経 C 脳神経内科)
研究主幹	田辺 晶代	(眼科)
	山岸 洋	(神経精神科)
	麻田 義之	(整形外科)
	田村 治郎	(整形外科)
	金丸 眞一	(耳鼻咽喉科・頭頸部外科)
	前谷 俊樹	(耳鼻咽喉科・頭頸部外科)
	鈴木 義久	(形成外科)
	岩崎 孝一	(神経 C 脳神経外科)

脳神経内科系

- 1 パーキンソン病患者における L-ドパ/DCI 配合剤治療へのセレギリンあるいはゾニサミドの上乗せ効果に関する無作為化比較第 2 相試験—多施設共同研究
(梶 勇人、斎木英資、松本禎之、伊東秀文 (和歌山県立医科大学)、高橋牧郎 (大阪赤十字病院)、竹島多賀夫 (富永病院)、金子 鋭 (関西医科大学)、尾崎彰彦 (済生会

- 中津病院)、濱野利明(関西電力病院)、末長敏彦(天理よろづ相談所病院)、西中和人(住友病院)、河野隆一(大阪府済生会野江病院)、梶本賀義(和歌山ろうさい病院)、山下博史(和歌山医療センター)、井上 学(大阪市立総合医療センター)
- 2 パーキンソン病に対する脳深部刺激療法が認知機能、精神状態へ与える影響(視床下核に対する脳深部刺激療法における導線と刺激電極の位置及び刺激の強度と、術後の認知機能の変化との関係を調べる研究
(齋木英資)
 - 3 パーキンソン病と脳梗塞における頸動脈超音波検査による頸部迷走神経萎縮に関する研究
(齋木英資、松本禎之、里井 斉、梶 勇人、中川朋一、小松研一、山本真義、阿部宗一郎、平藤哲也、菊谷明広、新美 完、今中祥平)
 - 4 パーキンソン症状を呈する入院患者の臨床像に関する検討
(齋木英資、松本禎之、里井 斉、梶 勇人、中川朋一、小松研一、山本真義、阿部宗一郎、平藤哲也、菊谷明広、新美 完、今中祥平)
 - 5 パーキンソン病患者におけるイストラデフィリンのジスキネジア発現に対する臨床研究(介入研究)
(齋木英資、松本禎之、里井 斉、梶 勇人、中川朋一、小松研一)
 - 6 脊髄梗塞の症候学
(小松研一)
 - 7 神経内科診療における精神科連携の意義の検討
(小松研一)
 - 8 二次性水頭症をきたした脳腫瘍の診断アプローチの検討
(小松研一)
 - 9 神経内科訪問診療における病診連携の検討
(梶 勇人、松本禎之)
 - 10 新規抗てんかん薬のてんかん重積への有用性の検討
(中川朋一)

眼科系

- 1 固視点集中型視野欠損をもつ緑内障患者の臨床的特徴
(田辺晶代 山川百季子 室山絵美子)
- 2 高齢緑内障患者における外科的緑内障治療の検討
(田辺晶代)
- 3 線維柱帯眼内法の長期成績
(田辺晶代 山川百季子 宮原晋介)
- 4 糖尿病黄斑浮腫患者における抗 VEGF 治療、内境界膜剥離術の比較検討
(田辺晶代、宮原晋介、濱田 舞)
- 5 黄斑円孔に対する invertedILM flap 法術後の網膜構造と視機能
(宮原晋介、室山絵美子)
- 6 黄斑前膜の術後視機能変化と関連因子
(田辺晶代、宮原晋介、山川百季子)

神経精神科系

- 1 精神医学の古典的文献の翻訳
(山岸 洋)
- 2 深部脳刺激療法による認知機能に対する影響についての研究
(深尾真由子、波多腰桃子、上田敬太、村井俊哉、山岸 洋)
- 3 精神科患者にみられる妄想の統計的解析についての研究
(水田弘人、三木寛隆、深尾真由子、仲山彰俊、山岸 洋)
- 4 統合失調症の精神病理学的研究
(喜綿永充、深尾真由子、仲山彰俊、山岸 洋)
- 5 生物心理社会モデル **biopsychosocial model** についての批判的方法論的検討
(山岸 洋、深尾真由子、仲山彰俊、村井俊哉)
- 6 統合失調症の脳構造画像 (**MRI**) に関する研究
(藤本心祐、村井俊哉)
- 7 総合病院精神科に受診するうつ病患者に対する精神療法
(坪倉 誠、山岸 洋)
- 8 摂食障害患者の家族療法についての研究
(岩崎明日香、山岸 洋)
- 9 緩和ケアにおける精神療法についての研究
(波多腰桃子、山岸 洋)
- 1 0 精神科リエゾンコンサルテーションにおける統計学的研究
(波多腰桃子、岩崎明日香、坪倉 誠、丸山千佳、山岸 洋)
- 1 1 非定型精神病の臨床病像の変遷についての研究
(山岸 洋、須賀英道)
- 1 2 精神医学と分析的哲学の境界領域に関する理論的研究
(山岸 洋、深尾憲二郎、村井俊哉、植野仙経)

整形外科系

- 1 **Surgical navigation system** を応用した頸椎手術の臨床評価
(太田雅人)
- 2 骨粗鬆症性脊椎圧迫骨折に対する椎体再建術の臨床研究
(太田雅人)
- 3 クロスリンクポリエチレンと **26** ミリ径コバルトクロム人工股関節骨頭との組み合わせによるソケット磨耗の経時的臨床的測定評価
(田村治郎)
- 4 高強度チタン合金ダブルテーパーシステム (**HS-3 Taper**) を用いた人工股関節の開発、中長期臨床成績の分析 (大腿骨皮質へのストレス分散に関する検討)
(田村治郎)
- 5 非吸収性のハイドロキシアパタイト (ボーンセラム) を用いた生体活性骨セメント手技による人工股関節ソケット固定の短期レントゲン所見、および臨床成績の分析
(田村治郎)
- 6 超長期耐用を目指した新しい生体活性骨セメント手技の開発研究 (生体界面における人工骨顆粒の分散および適切な顆粒径の分析)
(田村治郎)

- 7 ハイドロキシアパタイト顆粒を用いた大腿骨頭壊死に対する小侵襲の骨頭温存手術の開発、臨床成績の分析
(田村治郎)
- 8 セメント固定による人工股関節再置換におけるロングステム、サポートプレートおよび人工骨、同種骨の併用使用症例の臨床成績の分析
(田村治郎)
- 9 新しい後十字靭帯切除型人工膝関節置換術 (BS 5) の従来型 (KU4) との比較検討
(田村治郎 佐治隆彦)
- 10 後十字靭帯切除型人工膝関節置換術 (KU4, BS 5) の後方拘束性人工膝関節 (Posterior stabilizer type) との臨床的比較検討
(田村治郎 佐治隆彦)
- 11 人工股関節手術、人工膝関節手術の術後骨折のリスクファクターおよび術後臨床成績の分析
(田村治郎)
- 12 絞扼性神経障害における手術前後の電気生理学的検討
(麻田義之、平雄一郎)

耳鼻咽喉科・頭頸部外科系

- 1 頭頸部進行癌に対する超選択的動注による化学療法確立
(前谷俊樹、金丸眞一、吉田季来、北田有史)
- 2 乳突蜂巣再生による難治性中耳炎に対する再生医療の開発
(金丸眞一、金井理絵、前谷俊樹、吉田季来、北田有史)
- 3 組織工学的手法による外耳道軟部組織の再生医療
(金丸眞一、金井理絵、吉田季来、北田有史、前谷俊樹)
- 4 鼓膜組織幹細胞の同定と鼓膜再生医療の開発
(金丸眞一、金井理絵、前谷俊樹、吉田季来、北田有史)
- 5 突発性難聴に対する i-TASS (intra-Tympanic administration of Steroid Sponge) 療法の開発
(金丸眞一、金井理絵、坂本達則、前谷俊樹、西田明子、吉田季来、北田有史)
- 6 人工神経管と単核球移植による末梢神経の機能的再生
(金丸眞一、金井理絵、坂本達則、山本季来、北田有史、前谷俊樹)
- 7 グローバル、スタンダードを目指した bFGF による鼓膜再生療法の開発
(金丸眞一、金井理絵)
- 8 高濃度ステロイド浸潤ゼラチンスポンジ正円窓留置による内耳性難聴への新治療の開発
(金丸眞一、金井理絵)
- 9 鼓膜組織幹細胞の同定と動態の解明
(金井理絵)
- △ 10 末梢性顔面神経麻痺に対する高濃度ステロイド鼓室内投与療法の開発
(金丸眞一、金井理絵、三輪 徹)
- △ 11 ヒト遺伝性内耳疾患に対する遺伝子治療確立を見据えた基礎研究
(三輪 徹)
- 12 ミトコンドリア機能異常による加齢性難聴の原因解明

- (三輪 徹)
- 1 3 めまいと自律神経系の関係性についての研究
(三輪 徹)
- 1 4 認知症発症のリスクファクターである難聴への治療介入がもたらす発症遅延/予防効果の研究
(金丸眞一、金井理絵、三輪 徹)
- △ 1 5 飲酒・喫煙が発癌に関与していない口腔癌の未知の原因の解明
(原田博之)

形成外科系

- 1 中枢末梢神経軸索再生における瘢痕の抑制 平成 30 年度 基盤研究 (C) (一般)
(石川奈美子、鈴木義久)
- 2 人工リンパ節からのリンパ管新生についての検討 脂肪由来間質細胞付加の効果について 平成 30 年度 若手研究
(武田孝輔)
- 3 ヒト幹細胞臨床研究骨髄由来単核球細胞を用いた脊髄損傷
(ASIA 機能障害尺度 A,B) に対する第 II 相試験
(鈴木義久)
- 4 アルギン酸を使用した再生医療技術のための新規 scaffold の開発
(鈴木義久、石川奈美子、平井達也)
- 5 磁場による神経血管再生
(石川奈美子)
- 6 四肢リンパ浮腫患者のリンパ管の再生
(石川奈美子)

脳神経外科系

- 1 脳腫瘍全国統計調査と解析 (臓器がん登録調査)
(岩崎孝一 他 研究代表者: 成田善孝 (国立がん研究センター中央病院・脳脊髄腫瘍科))
- 2 グリオーマにおける化学療法感受性の遺伝子指標の検索とそれに基づくテーラーメイド治療法の開発
(岩崎孝一 他 研究代表者: 金村米博 (大阪医療センター・臨床研究センター・室長))
- 3 小児頭蓋内悪性腫瘍の遺伝子診断体制の構築 I. 髄芽腫、上衣腫
(岩崎孝一 塩田光隆 西田南海子 研究代表者: 西川亮 (日本脳腫瘍学会理事長) 坂本博昭 (日本小児神経外科学会理事長))
- 4 膜動静脈瘻に対する Onxy 液体塞栓システムを用いた経動脈塞栓術に関する多施設共同登録研究
(後藤正憲)
- 5 未破裂脳動脈瘤の増大・破裂を促進する因子同定のための臨床研究
(岩崎孝一 後藤正憲)
- 6 拡散テンソル画像によるパーキンソン病の前頭葉一線条体回路領域特異性の検討
(戸田弘紀)
- 7 拡散テンソル画像と微小電極記録による視床腹部の 3 次元機能解剖解析

- (戸田弘紀)
- 8 Small Unruptured Aneurysm Verification (SUAVe) -Prevention Effect against Growth of cerebral Aneurysm Study Using Statin (PEGASUS)
(岩崎孝一)
 - 9 無症候性頸動脈狭窄症の虚血発症リスク層別化に関する観察研究 (SmartK study)
(後藤正憲・岩崎孝一)
 - 10 成体神経幹細胞増殖制御における IGF-1・インテグリン $\alpha v \beta 3$ 協調作用の役割
(戸田弘紀)
 - 11 Japan Neurosurgical Database (JND)
(岩崎孝一 他 研究代表者：嘉山 孝正・飯原 弘二 (一般社団法人日本脳神経外科学会))

第 6 研究部 (発生、再生、発達障害研究部)

部長	秦 大資	(小児科)
研究主幹	佐藤 正人	(小児外科)
	諸富 嘉樹	(小児外科)
	塩田 光隆	(小児科)
	水本 洋	(小児科)

小児科系

- 1 小児ネフローゼ症候群に対する初期治療確立を目指した多施設共同臨床研究と拡大臨床試験体制整備 (文部科学省科学研究費補助金事業)
(主任研究者 吉川徳茂、分担研究者 秦 大資 (羽田敦子、秦 大資))
- 2 免疫グロブリン療法不応の川崎病に対するステロイド療法の併用に関する検討
(吉岡孝和、阿部純也、明石良子、熊倉 啓、水本 洋、塩田光隆、羽田敦子、渡辺 健、秦 大資)
- 3 乳児一過性高フェリチン血症に関する診断と治療の検討について
(塩田光隆)
- 4 Aicardi-Goutières 症候群の遺伝子解析
(阿部純也)
- 5 TREX1 遺伝子変異を中心としたインターフェロン関連疾患の病態解析
(阿部純也)
- 6 「水痘ワクチン追加接種後追跡調査」
(羽田敦子、明石良子、(リウマチ膠原病内科 辻本考平、総合内科 松村拓朗、呼吸器内科 丸毛 聡、) 秦 大資)
- 7 グロブリン製剤の濃度の違いによる川崎病治療効果の差異の検討
(吉岡孝和)
- 8 Joubert 症候群の臨床像の検討
(熊倉 啓、佐々木宏太、武藤亜希)
- 9 周期性嘔吐症に対する lamotrigine の効果の検討
(熊倉 啓、佐々木宏太)
- 10 乳児虐待における頭部 MRI 画像の検討

(熊倉 啓、石嶺里枝、秋田充代)

- 1 1 新生児蘇生における心電図使用が、蘇生者の行動に及ぼす影響に関する検討
(水本 洋)
- 1 2 アロマセラピーが脳性麻痺児の睡眠に及ぼす効果に関する検討
(水本 洋)
- 1 3 特発性低身長におけるメチル化解析を含めた GH-IGF1 系関連蛋白遺伝子解析
(山下純英)
- 1 4 GATA 3 遺伝子変異と HDR 症候群の臨床像の検討
(山下純英)
- 1 5 低 ALP 血症を合併した頭蓋鎖骨異形成症における RUNX2 および ALPL 遺伝子解析
(山下純英)
- 1 6 1 歳未満のインフルエンザ患者に対するラピアクタの投与
(羽田敦子、伊藤由依、片山俊郎、吉岡孝和、秦 大資)
- 1 7 小児インフルエンザウイルス感染症を対象としたバロキサビル・マルボキシルのペラミビルとの併用療法の検討
(加藤健太郎、羽田敦子、秦 大資)
- 1 8 新生児一過性高インスリン血症における血中 reverse T3 の検討
(阿水利沙、水本 洋)
- 1 9 新生児糖尿病における continuous glucose monitoring の有用性の検討
(岩田直也、阿水利沙、水本 洋)
- 2 0 先天性プロテイン C 欠損症と新生児虚血性大腸炎発症との関連に関する検討
(水本 洋)
- 2 1 新生児蘇生人形を使用した実習における加圧の検討
(前田貴美子、阿水利沙、水本 洋)
- 2 2 周期性嘔吐症に対する LTG の効果の検討
(坂部匡彦、熊倉 啓)
- 2 3 SCN2A 遺伝子異常症に伴うてんかんに対する LCM の有効性の検討
(佐藤結衣子、荒井 篤、吉田真衣、梶本智史、熊倉 啓)
- 2 4 急性壊死性脳症 (ANE) とけいれん重積型脳症 (AESD) を両方の臨床像を呈した症例の検討
(梶本智史、荒井 篤、佐藤結衣子、吉田真衣、熊倉 啓)
- 2 5 欠伸を伴う口周囲ミオクロームスの症例の検討
(荒井 篤、佐藤結衣子、吉田真衣、梶本智史、熊倉 啓)
- 2 6 5-オキソプロリン尿症が疑われた症例の検討
(吉田真衣、荒井 篤、佐藤結衣子、梶本智史、熊倉 啓)
- 2 7 Dravet 症候群に対する PER の有効性の検討
(荒井 篤、吉田真衣、熊倉 啓)
- 2 8 乳児常染色体劣性多発性嚢胞腎の高血圧緊急症の対応
(荒井 篤、羽田敦子、渡辺 健、秦 大資)
- 2 9 難治性単一症候性夜尿症 (NME) 治療中にラメルテオンを併用した効果の検討
(内原嘉仁、羽田敦子、山下純英、秦 大資)
- 3 0 小児難治性単一症候性夜尿症 (NME) におけるビベグロン治療効果の検討
(内原嘉仁、羽田敦子、山下純英、秦 大資)

- △ 3 1 TRPV6 遺伝子異常による新生児一過性副甲状腺機能亢進症に関する実績調査
(山下純英 秦 大資)
- 3 2 川崎病患者におけるリンパ球サブセット解析
(阿久澤大智)
- 3 3 水痘ワクチン追加接種後追跡調査
(羽田敦子、加藤健太郎、明石良子、辻本考平、丸毛 聡、秦 大資)
- 3 4 コクサッキーB 群ウイルス感染の新生児における重症度に関する研究
(加藤健太郎、羽田敦子、水本 洋、秦 大資)
- 3 5 POT 法を用いた NICU 内伝播の MRSA 分子疫学解析
(加藤健太郎、羽田敦子、水本 洋、秦 大資)
- 3 6 妊婦 GBS スクリーニング法改変による新生児侵襲性 GBS 感染症への影響
(沼田 寛、羽田敦子、吉岡孝和、加藤健太郎、水本 洋、秦 大資)
- 3 7 尿路感染症を発症した小児の水腎症・膀胱尿管逆流症の検討
(西尾尚紀、羽田敦子、吉岡孝和、水本 洋、秦 大資)
- 3 8 鼻腔培養と呼吸器感染症との関連性の検討
(宮脇康輔、羽田敦子、秦 大資)
- 3 9 HHV-6、HCMV 重複感染による小脳失調症の検討
(羽田敦子、秦 大資)
- 4 0 小児における血液培養の現状と展望
(岩田直也、羽田敦子、秦 大資)
- 4 1 ロタウイルス胃腸炎ワクチン接種後のロタウイルス胃腸炎症例の検討
(坂部匡彦、羽田敦子、秦 大資)

小児外科系

- 1 人工気胸下小児胸腔鏡手術における循環動態の研究
(佐藤正人、遠藤耕介、東尾篤史、諸富嘉樹)
- 2 重症心身障がい児に対する腹腔鏡下噴門形成術の定型化の試み
(佐藤正人、遠藤耕介、東尾篤史)
- 3 小児内視鏡外科教育システムの構築
(佐藤正人、遠藤耕介、東尾篤史、諸富嘉樹)
- 4 小児外科領域における単孔式腹腔鏡下手術の開発
(佐藤正人、遠藤耕介、東尾篤史、諸富嘉樹)
- 5 ASH (abdomino scrotal hydrocele) の成因についての研究
(諸富嘉樹、東尾篤史、遠藤耕介)
- 6 小児消化管異物症例の疫学的検討
(遠藤耕介、佐藤正人)
- 7 先天性胆道拡張症に対する腹腔鏡手術術式の開発
(佐藤正人、遠藤耕介、東尾篤史、諸富嘉樹)
- 8 膀胱尿管逆流症に対する低侵襲手術の開発
(諸富嘉樹、遠藤耕介、東尾篤史、佐藤正人)
- 9 ヒルシュスプルング病類似疾患における腸管神経細胞の分布についての検討
(佐藤正人、遠藤耕介、諸富嘉樹)
- 1 0 ヒルシュスプルング病診断におけるカルレチニンの応用

- (佐藤正人、遠藤耕介)
- 1 1 先天性胆道閉鎖症の成因についての研究
(諸富嘉樹、遠藤耕介、東尾篤史)
 - 1 2 先天性胆道閉鎖症初回手術時における線維化ならびに炎症性マーカーからの予後推定に関する研究
(東尾篤史、諸富嘉樹)
 - 1 3 腹腔鏡下単径ヘルニア根治術 (LPEC) 術式の開発・普及
(諸富嘉樹、遠藤耕介、東尾篤史)
 - 1 4 漏斗胸手術至適年齢の検討
(諸富嘉樹、遠藤耕介、東尾篤史)

第 7 研究部 (生体画像、医療機器学研究部)

部長 奥村 亮介 (放射線科)
研究主幹 高木 雄久 (放射線科)

放射線科系

- ※ 1 拡散 MRI を用いた革新的な腫瘍診断技術の構築
(飯間麻美、片岡正子、富樫かおり (京都大学画像診断科) 奥村亮介 北野病院放射線科)
- 2 骨転移のある去勢抵抗性前立腺癌に対する塩化ラジウム内用療法の臨床的有用性に関する検討 (継続)
(熱田智子、高木雄久)
 - 3 進行食道癌患者に対する緩和的放射線科治療の QOL への影響のご検討 (継続)
(熱田智子、高木雄久)
 - 4 III期非小細胞肺癌に対する同時胸部化学放射線療法および逐次的デュルバルマブ維持療法における至適照射範囲の検討
(熱田智子、高木雄久)
 - 5 子宮頸癌術後再発に対する小線源組織内照射の適応 (強度変調放射線治療との比較) および至適線量の検討
(熱田智子、高木雄久)

脳神経外科系

- 1 深部脳電極埋込時における頭位の影響に関する検討
(西田南海子、戸田弘紀、斎木英資 他)
- 2 特発性正常圧水頭症における症状改善のための臨床研究-アルツハイマー病理が疑われる患者に対するシャントの有効性・安全性に関して-
(西田南海子、小松研一 研究代表者：森悦朗・宮嶋雅一・数井裕光 (日本正常圧水頭症学会))
- 3 特発性正常圧水頭症の髄液不均等分布及び脳白質障害と L-PGDS についての研究
(西田南海子、永田奈々恵 (東京大学農学部・農学生命科学研究科) 他)
- 4 低出生体重児の脳室内出血後水頭症に対する治療経過の検討
(西田南海子、水本 洋)

- △ 5 片側顔面痙攣症の神経基盤を探る研究
(西田南海子、戸田弘紀、岩崎孝一 他)

第 8 研究部 (予防、医療疫学、検査医学研究部)

部長 高森 行宏 (健診部)
研究主幹 木内 俊一郎 (救急部)
藤川 潤 (検査部)

健診部系

- 1 ドック健診における高感度 CRP 検査と生活習慣との関連について
(高森行宏)
- 2 ドック健診における膵がんの発見の契機について
(高森行宏)
- 3 中高年女性における健康意識および生活習慣と健診データとの関連性
(高森行宏)
- 4 尿酸値の高い女性の特徴について
(遠藤真紀子)
- 5 壮年期男性の頸動脈超音波所見の検討
(遠藤真紀子)
- 6 日本の子宮頸がん死亡・罹患率の年次変動と将来予測：ベイズ型 Age-Period-Cohort (APC) 分析
(榊原敦子、片山俊郎、樋口壽宏)
- 7 日本人女性における喫煙割合と子宮頸がん死亡・罹患率の経年変化：Birth cohort analysis
(榊原敦子、片山俊郎、樋口壽宏)
- 8 日本人女性における喫煙割合と子宮頸がん死亡・罹患率の経年変化：Joinpoint analysis
(榊原敦子、片山俊郎、樋口壽宏)
- 9 出生コホートによる子宮頸がん罹患率とリスクファクターの関連：相関・回帰分析
(榊原敦子、片山俊郎、樋口壽宏)
- 10 子宮頸癌における年齢と予後の関連についての検討：多施設共同研究
(榊原敦子、片山俊郎、樋口壽宏)
- 11 北野病院医療情報を使用した HPV ワクチン接種状況の記述統計学的分析
(榊原敦子、片山俊郎、樋口壽宏)
- 12 北野病院産婦人科癌登録データを使用した若年子宮頸癌および CIN3 の時系列分析
(榊原敦子、片山俊郎、樋口壽宏)
- 13 日本における若年子宮頸がん予防対策の効果の推計
(榊原敦子、片山俊郎、樋口壽宏)

救急部系

- 1 集団災害時におけるヘリコプター救急医療ネットワークの構築
(木内俊一郎、新谷 裕)

- 2 携帯電話を用いた個人医療情報通知システムの構築
(木内俊一郎、新谷 裕)
- 3 熱中症からの急性循環不全における凝固線溶系への影響
(木内俊一郎、新谷 裕)

検査部系

- 1 急性腎障害マーカーとしての尿中 NGAL 測定の有用性について
(土肥慎哉、伊東知沙紀、松井美甫香、横森未来、大滝敦美、垣内真子、前田記代子)
- 2 血清中 ECO2 測定 of 臨床的意義について
(松井美甫香、土肥慎哉、伊東知沙紀、横森未来、見戸杏優、垣内真子、田畑宏道)
- 3 免疫血清部門における市販コントロール血清の効率的運用について
(大滝敦美、伊東知沙紀、横森未来、土肥慎哉、垣内真子、前田記代子)
- 4 シーメンス社製 全自動免疫生化学統合測定装置 Dimension EXL200 を用いた生化学特殊項目測定の有用性
(垣内真子、土肥慎哉、松井美甫香、大滝敦美、前田記代子、田畑宏道)
- 5 検査終了後廃棄血清を用いた日内精度管理用プール血清の有用性について
(土肥慎哉、伊東知沙紀、松井美甫香、大滝敦美、垣内真子、前田記代子)
- 6 全自動化学発光免疫測定装置「アボット社 Alinity i システム」の基礎検討
(垣内真子、大滝敦美、松井美甫香、伊東知沙紀、土肥慎哉、前田記代子)
- 7 当検査部における、全自動化学発光免疫測定装置「アボット社 Alinity i システム」の導入有用性の検討
(前田記代子、垣内真子、大滝敦美、松井美甫香、土肥慎哉、田畑宏道)
- 8 血清プレセプシン測定の有用性について
(前田記代子、垣内真子、田畑宏道、辻本考平、羽田敦子)
- 9 検体検査搬送システムでの TAT 短縮の工夫および結果照会画面への報告時間表示機能、院内導入の効果
(前田記代子、伊東知紗紀、大滝敦美、土肥慎哉、横森未来、垣内真子)
- 10 大規模災害時の検体検査室の役割に関する検討
(前田記代子、志賀千代美、小林賢治、上西徳治、田中順子、垣内真子、田畑宏道)
- 11 院外検査センターと当院検査システムとの効率的な接続（院外検査データ情報取り込みの新たな仕組み）導入後の検証
(前田記代子、田畑宏道、藤川 潤)
- 12 検査センター実施項目のリアルタイム TAT 表示とその有用性の検証、および問題点
(前田記代子、垣内真子、田畑宏道、藤川 潤)
- 13 NST（栄養サポートチーム）活動における栄養評価項目の有用性の検討
(垣内真子、山崎みどり)
- 14 当院における術式別平均出血量の算出および SBOE にもとづいた手術血準備の構築（T&S のあり方もふくめて）
(大滝紘平、高橋明日香、宮内万知子)

- 1 5 オーズ輸血自動分析器・VISIONによる移植時抗体価測定の検討
(大滝紘平、志賀千代美、高橋明日香、宮内万知子)
- 1 6 輸血管理アプリケーション BTDX を用いたオーダリングシステムとの輸血
連携について
(大滝紘平、高橋明日香、宮内万知子)
- 1 7 幹細胞移植における輸血連携業務について (採取・保管管理、マーカー検査も
ふくめて
(大滝紘平、高橋明日香、宮内万知子)
- 1 8 アルブミン製剤の製剤管理と適正輸血について
(大滝紘平、高橋明日香、飯田奈緒、宮内万知子)
- 1 9 輸血後鉄過剰症のマネージメントについて
(大滝紘平、高橋明日香、宮内万知子)
- 2 0 当院における自己血輸血の現状と評価
(大滝紘平、高橋明日香、宮内万知子)
- 2 1 産婦人科危機的出血シミュレーションによる輸血体制の構築
(大滝紘平、高橋明日香、宮内万知子)
- 2 2 Sysmex 社 XN-10 BF モードによる体液測定の実用化について
(大滝紘平、高橋明日香、浅田 薫、宮内万知子、志賀千代美、前田記代子)
- 2 3 CELLAVISION 社 DM9600 の運用の評価
(大滝紘平、高橋明日香、浅田 薫、宮内万知子、志賀千代美、前田記代子)
- 2 4 BECKMANCOLTER 社 Navios EX におけるフローサイトメトリーの基礎的検
討
(大滝紘平、高橋明日香、志賀千代美、前田記代子)
- 2 5 次期検体検査室の構築
(前田記代子、垣内真子、田畑宏道)
- 2 6 次期検体検査測定装置の検討
(前田記代子、土肥慎哉、垣内真子、田畑宏道)
- 2 7 運動負荷 PWV・ABI、皮膚灌流圧、下肢動脈エコーとの相関について
(伴 洋子、宮原佳子、井上美砂、河関恵理子、上妻玉恵、土井千賀子、
生熊誠子、嶋田昌子、大西めぐみ、尾花綾乃、渡邊裕子、小田嶋康雄、
中野尋文、秋田育美、森本 幸、吉田美由紀、山中美佳、船橋 妹、
平井絵理香、下川知春、山上真依、横山明希野、河北友紀、南 奈月)
- 2 8 心電図による左室肥大診断の臨床的意義についての検討 (心エコーデータとの
比較検討)
(伴 洋子、宮原佳子、井上美砂、河関恵理子、上妻玉恵、土井千賀子、
生熊誠子、嶋田昌子、大西めぐみ、尾花綾乃、小田嶋康雄、渡邊裕子、中野尋文、
秋田育美、森本 幸、吉田美由紀、山中美佳、船橋 妹、平井絵里香、下川知春、
山上真依、横山明希野、河北友紀、南 奈月)
- 2 9 AS の進行する要因について心エコーでの検討
(上妻玉恵、土井千賀子、生熊誠子、大西めぐみ、尾花綾乃、森本 幸、
小田嶋康雄、平井絵理香)
- 3 0 腹部エコーでの胆嚢壁肥厚と形態・血流評価の検討
(河関恵理子、上妻玉恵、土井千賀子、生熊誠子、森本 幸、大西めぐみ、

- 秋田育美、下川知春、尾花綾乃)
- 3 1 側頭動脈炎と血管エコー所見についての検討
(河関恵理子、上妻玉恵、土井千賀子、生熊誠子、森本 幸、大西めぐみ、秋田育美、尾花綾乃、船橋 妹)
 - 3 2 EVAR 後の Endoleak 評価 -エコーと CT での相関-
(上妻玉恵、土井千賀子、生熊誠子、河関恵理子、尾花綾乃、大西めぐみ、森本 幸)
 - 3 3 シャントエコーの有用性についての検討
- シャント作成前の動脈評価や PTA 前評価など -
(上妻玉恵、生熊誠子、土井千賀子、河関恵理子、尾花綾乃、大西めぐみ)
 - 3 4 2 型糖尿病患者に対する膵癌発生についての前向き経過観察 (糖尿病内科・消化器内科共同研究)
(河関恵理子、上妻玉恵、土井千賀子、生熊誠子、森本 幸、大西めぐみ、秋田育美、下川知春、尾花綾乃)
 - 3 5 脳波検査において、側頭葉てんかん症例における T1,T2 記録の有用性の検討
(嶋田昌子、渡邊裕子、井上美砂、中野尋文、山中美佳、宮原佳子)
 - 3 6 神経伝導検査において、F 波出現率低下症例における正中神経刺激時の安静時と運動時での出現率の比較検討
(嶋田昌子、渡邊裕子、中野尋文、井上美砂)
 - 3 7 PSG 検査において、REM 低換気症例検討
(嶋田昌子、渡邊裕子、宮原佳子、井上美砂)
 - 3 8 検査情報システムの開発
(藤川 潤)
 - 3 9 臨床研究のためのデータベースの構築
(藤川 潤)

第 9 研究部 (薬学、生理学研究部)

部長	足立 健彦	(麻酔科)
研究主幹	尾上 雅英	(薬剤部)
	宮崎 嘉也	(集中治療部)
	加藤 茂久	(麻酔科)
	黒寄 明子	(麻酔科)

麻酔科系

- 1 麻酔台帳 I T 化を利用した周術期合併症の要因分析
(原 朋子)
- 2 糖尿病患者の術前コントロールと周術期合併症に関する後ろ向き研究
(佐々木由紀子、直井紀子)
- 3 新生児、乳児の鏡視下手術の麻酔管理
(黒寄明子)
- 4 小児前投薬における経口ミダゾラムシロップの有用性に関する研究
(黒寄明子)

- 5 敗血症患者管理におけるプレセプシン測定の有効性に関する検討
(宮崎嘉也)
- 6 高度低肺機能患者の胸腔鏡下手術における自発呼吸下麻酔の有用性及び安全性に関する研究
(加藤茂久)
- 7 術後悪心嘔吐の予防目的で術中投与するドロペリドールの副作用である錐体外路症状に関する調査研究。特に若年者における状況
(加藤茂久)
- 8 血管内皮バリア機能制御における IFN β -1a シグナルと低酸素応答系のクロストーク
(足立健彦・広田喜一 (関西医科大学 附属生命医学研究所 侵襲反応制御部門))

薬剤部系

- 1 抗がん剤の副作用発現に関連する因子の探索
(尾上雅英、中多陽子、三宅麻文、近藤 篤、柏井 琢)
- 2 電子カルテ機能を活用した医療安全システムの構築
(三井克己、伊藤俊和、石川弘子、尾上雅英)
- 3 新入職職員や薬学部実習生に対する教育システムの開発
(上田 覚、伊藤俊和、尾上雅英)
- 4 薬剤性副作用の指標となる患者側要因の探索
(河原宏之、尾上雅英)
- 5 AST活動が臨床医の管理抗菌薬選択に与える影響について
(上田 覚、高橋 有、小林和博、尾上雅英)
- 6 セフメタゾール注の投与回数別の有効性の比較検討
(上田 覚、伊藤俊和、尾上雅英)
- 7 老年期における薬物療法の実態調査
(河原宏之、尾上雅英)
- 8 ジェネリック薬品導入前後の病院に与える経済的評価
(河原宏之、尾上雅英)
- 9 高齢者の多剤服用の現状把握と多職種間での薬物療法の適正化について
(尾上雅英)
- 1 0 irAE 発現に影響を及ぼす併用薬の探索
(中多陽子、柏井 琢、尾上雅英)
- 1 1 眼科手術後の予防的経口抗菌薬中止による術後感染症発生率の影響について
(高橋 有、小林和博、尾上雅英)
- 1 2 新生児期の薬物動態変動機構の解析 (新生児における酢酸亜鉛製剤投与後の血清亜鉛及び血清銅の推移に関する個体間変動要因の解明)
(伊藤俊和、尾上雅英)

第10研究部 (看護学研究部)

部長 松尾 文美 (看護部)

- 1 急性期病院におけるスペシャリストとジェネラリストの育成への取り組み

- (松尾文美)
- 2 キャリアラダー導入への道のり
(松本洋美)
- 3 看護職への障害者雇用導入報告
(木戸宏美)
- 4 看護管理に対し「どのように職務を遂行するか」を実践できる副看護部長の支援を考える
(白井智子)
- 5 医療安全に関する多職種連携と実践力向上
(椎橋美月)
- 6 A 病院の病棟浴室内における非結核性抗酸菌の検出状況 (継続研究)
(高詒江美)
- 7 セラミド含有皮膚保護剤のストーマ周囲皮膚への影響
(松本 忍、佐藤恵美子、釘宮真紀)
- 8 臨床における教育的役割遂行を通じた看護師の成長プロセスに関する研究
(日高朋美)
- 9 5S 活動を通しての看護師の意識変化と行動変化
(松田美和子、保田久留美)
- 10 特別病室入院患者の特徴を捉えた看護サービスの提供と患者満足
(外間真奈美、山田夏奈子、川原恵理香、福坂知美)
- 11 精神科における感情労働へのアプローチ
(近藤 喜)
- 12 A 病院における周産期耐糖能異常妊婦への療養支援
(古河てまり、安藤ますみ、博多恵美、増田有美、竹内麻衣)
- 13 療養場所の移行を支援するために多職種でのチームアプローチの必要性
(楠本雅美)
- 14 助産師が考える正常分娩に至る妊婦像と正常分娩に導くための保健指導内容
(西本由希、立花佳奈、村田 濤)
- 15 脳神経外科病棟における適正な行動制限管理に向けた取り組み
(森 久江、今吉友美、小松由佳、元田直輝)
- 16 心臓カテーテル検査前準備にて不備が生じる原因を知り、改善への対策検討
～病棟看護師向けの聞き取り調査の結果に応じた業務改善～
(足立法子、吉村純子、鈴木さゆり、和田和美、原田あかり、山口菜弓、和田みく、小池千尋、芝内 新、福間智美、清水里香)

第11 研究部 (医療情報管理・経営企画研究部)

部長 北岡 有喜 (客員)
研究主幹 松島 大介 (客員)

- 1 個人向け健康医療福祉履歴情報管理サービス (Personal Health Records: PHR)
「ポケットカルテ」の機能拡張と、地域共通診察券との連動による情報自動収集システムの開発

- (北岡有喜、小森由宗、松島大介)
- 2 医療機関における個人向け健康医療福祉履歴情報管理サービス (Personal Health Records: PHR)「ポケットカルテ」の利活用を支援するためのユーザインタフェースに関する研究
(小森由宗、松島大介、北岡有喜)
- 3 個人向け健康医療福祉履歴情報管理サービス (Personal Health Records: PHR)「ポケットカルテ」を高齢者が簡易に利活用するためのユーザインタフェースに関する研究
(松島大介、小森由宗、北岡有喜)
- 4 「ヘルスケア家計簿」システムと個人向け健康医療福祉履歴情報管理サービス (Personal Health Records: PHR)「ポケットカルテ」の連携における安心・安全なシングルサインオンに関する研究
(小森谷祥明、小森由宗、松島大介、北岡有喜)
- 5 地域共通診察券の発行に係る人的資源の継続的確保に関する研究
(横田健吾、滝川裕介、小川麻理、北岡有喜)
- 6 地域中核病院内における情報通信ネットワーク構築とその維持管理におけるリスク管理の洗い出し及び、障害発生前の潜在的リスク感知と予防的保守作業を行うための方法論に関する研究
(滝川裕介、北岡有喜)
- 7 地域医療連携基盤構築のための地域中核病院の支援とその対象人口に関する研究
(横田健吾、滝川裕介、北岡有喜)
- 8 地域医療ネットワーク基盤を提供する NPO 法人の財務会計の健全化に関する研究
(小川麻理、北岡有喜)
- 9 地域医療連携システムの構築・維持管理にかかる経費を持続的に獲得するための方法論に関する研究
(小森谷祥明、田中啓之、北岡有喜)
- 10 競争的資金を用いて地域医療情報システムを構築する際の一般競争入札のあり方に関する研究
(小森谷祥明、田中啓之、北岡有喜)
- 11 スペシャル医療クラークの導入効果 (診療報酬請求に関わる各種書類の作成率向上)
(滝川裕介、松島大介、北岡有喜)
- 12 DPC データを用いた医療機関の経営分析とその結果を経営改善に利活用するための方法論に関する研究
(北岡有喜、滝川裕介、松島大介)
- 13 働き方改革を支援する医療分野の IoT: スマートグラスに関する研究
(北岡有喜、湊 拓巳、大岩秀行)
- 14 スマートグラスによる体外循環技術の安全性向上に関する研究
(湊 拓巳、北岡有喜)
- 15 働き方改革のツールとしてのスマートグラスの利活用シナリオに関する研究
(湊 拓巳、北岡有喜)

第12研究部 (東西医学研究部)

部長	福井 基成	(呼吸器 C 呼吸器内科)
研究主幹	東本 有司	(リハビリテーション科)
	金尾 顕郎	(客員)
	鈴木 雅雄	(客員)

- 1 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) に対する鍼治療を用いた長期予後の検討 (L-CAT)
(鈴木雅雄、福井基成、北島尚昌、井上大生、白石 祐介、丸毛 聡)
- 2 早産児・低出生体重児の背景因子と神経運動発達との関連に関する研究
(本田憲胤、澤田優子)
- 3 心不全 Frailty の予後予測妥当性と心臓リハビリテーション効果に関する研究
(上坂建太、吉田 都、辻本実奈美)
- 4 心臓血管外科手術後のリハビリテーション進行に関連する因子の検討
(上坂建太、吉田 都、辻本実奈美)
- 5 ADL 維持向上等体制加算等導入が病院・患者に与える影響の検討
(松岡 森、山田 修、本田憲胤、大洞佳代子)
- 6 パーキンソン病患者における下肢機能とバランス能力の関係
(甲斐太陽、浦慎太郎)
- 7 心臓血管外科手術後のリハビリテーション進行に関連する因子の検討
(上坂建太、吉田 都、辻本実奈美)
- 8 非侵襲的陽圧換気併用による収縮能の保たれた心不全の運動耐容能改善に関する研究
(上坂建太、中根英策、猪子森明)
- 9 デイケアにおけるサーキットトレーニングの身体機能に及ぼす効果に観察研究
(本田憲胤、矢木崇善、渡辺健太)
- 10 慢性閉塞性肺疾患患者における睡眠効率と身体機能の関連の検討
(本田憲胤、富 謙伸、野村知里、北彩也香、大洞佳代子)
- 11 胸郭に対する振動・圧迫刺激が肺機能・運動機能に与える影響の検討
(本田憲胤、富 謙伸、野村知里、北彩也香、大洞佳代子)
- 12 ロボットスーツ HAL の導入効果に関する研究
(大洞佳代子、浦慎太郎、亀山千尋、本田憲胤)
- 13 パーキンソン病患者における二重課題負荷が方向転換動作時の移動軌跡に与える影響
(浦慎太郎、甲斐太陽)
- 14 ハイリスク新生児の発達支援
(澤田優子、本田憲胤、大洞佳代子、水本 洋)
- 15 心臓血管外科手術後のリハビリテーション進行に関連する因子の検討
(上坂建太、吉田 都、辻本実奈美、大洞佳代子)
- 16 心不全 Frailty の関連因子ならびに心臓リハビリテーション効果に関する研究
(上坂建太、吉田 都、辻本実奈美、大洞佳代子)

(2) 地域医療研修センター事業・研究会の開催

1)	学術講演会・研究所発表会	1回
2)	研究所セミナー	5回
3)	K2-NET 講演会	2回
4)	地域包括呼吸ケアを考える会	2回
5)	吸入指導ネットワーク講習会	1回
6)	呼吸器専門医のためのとことんセミナー	1回
7)	Osaka Respiratory Expert Seminar	2回
8)	大阪 NIP ミーティング	1回
9)	近畿 LAMP 研究会	1回
10)	ネーザルハイフロー療法勉強会（事務局）	1回
11)	北野ハートセミナー	1回
12)	天満ナイトミーティング	1回
13)	扇研究会	1回
14)	新 SONES 会	1回
15)	北野心臓血管疾患研究会	1回
16)	脂質と循環器疾患を考える会	1回
17)	北大阪プライマリケアミーティング	2～3回
18)	ESD ハンズオンセミナー	1回
19)	大阪胆膵内視鏡ライブ	1回
20)	腎臓病教室	8回
21)	きたの Kidny Day	1回
22)	大阪糖尿病合併症と医療連携の会	2回
23)	大阪糖尿病・内分泌倶楽部	2回
24)	大阪動脈硬化症セミナー	1回
25)	大阪 B.B.DM フォーラム	1回

26)	北野臨床血液セミナー	1回
27)	医学生・若手医師のための小児科医療最前線	1回
28)	北野小児科学術講演会	1回
29)	北大阪感染症研究会	1回
30)	研修医のための消化器外科セミナー	1回
31)	手術室看護師のためのチーム養成セミナー	1回
32)	北大阪消化器外科合同カンファレンス	1～2回
33)	大阪スペシャルミックス外科講演会	3～4回
34)	遺伝性腫瘍セミナー	2回
35)	きたの産婦人科セミナー	1～2回
36)	北大阪眼科セミナー眼科臨床検討会	3回
37)	扇町糖尿病内分泌内科・眼科合同研究会	1回
38)	北野耳鼻咽喉科病診連携の会	2回
39)	耳鼻咽喉科内視鏡手術手技研究会（全国規模）	1回
40)	市民公開講座（難聴をどう乗り越えるか）（全国規模）	6回
41)	鼓膜再生研究会（全国規模）	2回
42)	呼吸器病理研究会	1回
43)	大阪バイオリジックフォーラム	1回

(3) 学会発表

(4) 論文発表

(5) 講演・執筆

(6) 紀要の刊行

2020 年度事業計画

1. 2019 年度を振り返って

(1) 財団設立 90 周年記念事業の展開

本館診療機能の強化を目的とした新館建設は、地中埋設物の影響で当初予定より 11 ヶ月遅延となったことから竣工は 2020 年 11 月の見込み。現在は、計画通りに工事は進捗しており 2019 年度末では全体の 48%の工程出来高となる。また、放射線治療機器の更新については、新館に設置予定の IMRT（強度変調放射線治療）1 台の機種選定が完了し、その他高額医療機器の選定も完了した。

(2) 経営の安定化に向けた取組み

① 新入退院患者の確保

入院患者確保のために、かかりつけ医との関係をより深めることが必要であると考え、病院長をはじめセンター長・地域連携室室長といった管理者によるかかりつけ医への訪問回数を積極的に増やした。それに伴い、新入院患者数は 14,965 人（前年比+1,032 人、同比率+7.4%）の結果であった。

② SPD（院内物流管理システム）導入

10 月よりシステム導入をスタートし、病棟からはじめ内視鏡室・アンギオ室へ展開した。現在では新 SPD システムにより、これまでの伝票記載等の労力を軽減することができるようになったほか、納期等の情報を自部署にて確認できるようになったため、倉庫への問い合わせ件数が減少し、事務負担軽減に繋がったと考えられる。また、院内倉庫在庫の低減により、活用可能なスペースを確保することができた。2020 年 4 月より全体の消費材料の約 6 割を占める手術室に着手し本格稼働を目指し、棚卸業務の効率化やタブレットによる在庫の見える化、RFID（電波自動読み取り技術）の IC チップを利用することによる材料のトレーサビリティが可能になり、最終目的である病院原価管理につなげコスト管理体制の構築に努める。

③ 経営企画本部の設置

部署や役職にとらわれず、部門横断的な協働や専門知識の共有のもと、全社的な経営課題を解決するために、4 月より病院長直轄の組織として、新たに経営企画本部を設置した。経営企画本部は、医師・看護部・コメディカル等の多職種で構成されたクロスファンクショナルチームで、初年度は主に、DPC 分析ツールを用いた各診療科における新入院患者数や手術件数といった指標の目標実績管理体制の整備に努めた。次年度は、診療報酬改定や働き方改革、新館建設等の大型投資による財務基盤の再構築等の解決すべき課題に向けて、改めて財政状況をベースにした業績向上のために、タイムリーな経営データのモニタリングとフィードバックに努めていく。

(3) 医療の質の向上に向けた取組み

① 入退院支援の強化

a) 入退院サポートステーション

4 月より入退院サポートステーションを開設し、PFM（Patient Flow Management）を導入した。

多職種連携により標準化した入院・手術のマネジメントを行い、入院前から退院後までの患者の流れを澁みなくできたことから、平均在院日数の短縮（10.6 日→9.5 日）にも大きく寄与した。前方連携の強化による紹介患者の増加、新入院患者の獲得、広報・訪問などによる病院機能の迅速かつ正確な周知を行い、一方で後方連携の強化では、後方病院へのスムーズな紹介、在宅への退院支援など入退院サポートステーションの役割と期待は大きい。

b) クリニカルパス委員会の再発足

既存のクリニカルパスの見直しや作り替え、新規パス作成を担っている。パス作成においてはコアメンバーが担当し、クリニカルパス委員会で承認という 2 重構造の組織へと変更した。一連の見直しの効果として、平均在院日数の適正化や DPCⅡ 期超え率の低減（38.5%→33.4%）があった。

② がん診療センターの発足及び緩和ケア外来の開設

がん診療に求められる総合的・横断的診療体制とチーム医療をより一層充実させ、院内のがん診療を統括し、がん診療に関わる事業・業務の窓口となるとこと、また大阪府がん診療拠点病院として、がん診療の事業内容を推進させることを目的として、病院長直下の新たな組織として、7 月にがん診療センターを発足した。がん診療センターでは、実際のがん治療のみならず、緩和ケア・がん相談・就労支援・リハビリ・栄養指導・遺伝カウンセリングなど、がん診療に関わる全ての部門にて、多職種間のチーム医療のもと、患者さんを身体的・精神的・社会的に幅広くサポートする体制を整えた。また、がん診療センターの発足に伴い、11 月より緩和ケア外来を開設し、できる限り良好な QOL の実現に向けて診療を開始した。

③ 歯科口腔外科の開設

2015 年 3 月で診療停止していた歯科口腔外科を 6 月より開設した。当年度は紹介患者のみの診療とし、主に外科的手術後の合併症などの軽減を目的に医科歯科連携を行い、周術期口腔機能管理を行ってきた。

④ 病棟再編成

アメニティー向上のため、14 階東の特別個室の改修を行った。また、11 月に CCU の機能拡充を目的として 8 階東病棟の移転を行った。その他、現在も順次計画を進めている。

⑤ 医療の質管理センター（KQMC：Kitano Quality Management Center）の設置

4 月より、改善推進室が ISO9001・職員教育・Quality Control、診療録監査などの業務を行う目的で新設。主な活動として、21 チームによる「QC サークル活動」を行い、2020 年 2 月当院では初めて発表会を開催し、組織的な改善活動が継続されている。また、卒後臨床研修の充実に努め、2019 年 4 月 1 日付で NPO 法人卒後臨床研修評価機構の認定を更新した。また、医師が選ぶ「働きたい病院」ランキングでは全国 8 位、近畿では 1 位に選ばれ、全国的に評価を得ている。

2. 2020 年度の計画

- ・2019 年度は全職員で「改善」に取り組んできたが、2020 年度も引き続き「改善」活動を続けていとともに、診療報酬改定及び働き方改革の実施年度であるため、個々の業務内容を今一度見直し、生産性・効率性を意識したうえで個人の価値と病院価値をさらに高めていくことを目標に業務改善に取り組んでいく。
- ・安定的かつ自律的な経営のもとで良質な医療を継続的に提供できる体制を構築していくために、経営効率の向上、地域連携のさらなる強化、病院・健診などのアライアンスパートナーの検討をしていく。

(1) 財団設立 90 周年記念事業の展開

今年度は予定通り 11 月末竣工に向けて、本館より新館への機器・備品等のスムーズな移転を目的に「新館移転推進プロジェクト」チームを発足。診療体制の支障が出ないよう安全で円滑に移転できるよう入念に計画を整えていく。

(2) 経営の安定化に向けた取組み

① 新入院患者の確保

a) 救急

重症患者の入院確保のため救急受入体制の再構築が急務である。中でも外科系の救急入院の割合が約 20%と低いため、緊急性を要する重症患者の受入フローを見直していく。また、救急不応需率の改善のため、救急隊からのファーストコールに際して受入即断と、密な院内連携とそのコミュニケーションに関して今一度検証が必要である。加えて、かかりつけ患者を優先するあまり初診患者の不応需件数が多いことも課題である。今後は救急隊との症例検討会を定期開催し、顔の見える関係性の構築に努めていく。

b) 手術件数

同規模水準の他院と比較して、手術件数は多く高稼働な状況であると同時に、手術室が不足する懸念があり、新館建築をはじめ一連の病床再編の中で手術室の拡充はプライオリティが高い。2019 年 4 月～12 月実績の手術件数は、全身麻酔 2,443 件（前年比+77 件）、局所麻酔 2,772 件（前年比+194 件）と順調に伸張しているが、重症度アップのためにはさらに件数を伸ばす必要がある。特に限られたスペースであることから心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、がん関連手術など高単価の手技を増やしていくことが求められる。また、病床再編の一環で眼科の白内障などは外来手術へ移行し、空き手術室の活用を行う予定である。

② 病床機能や適性病床数の検討

小児科の入院患者が恒常的に 8 階西病棟以外の他病棟で分散入院しており、医療安全上問題となっていること、また元々狭隘な NICU・GCU であったことから、小児病棟の全面的な改修工事を行う。また、時期により病院全体の病床数が不足することもあることから、病床確保のために個室から多床室へ改修も検討しているが、一連の病床再編により現状よりダウンサイズすることも検討している。

- ・NICU を 12 床から 9 床に縮小

- ・GCUを6床から9床に拡充

③ 診療報酬改定への対応

2020年4月に診療報酬の改定が行われることを受け、看護必要度のシミュレーションを行い、対策を講じる。タスク・シフティングによる報酬加算を想定し、急性期100対1夜間看護補助体制加算の取得に向けて鋭意取り組みしている。さらには特定行為看護師の育成を計画的に進め、医師の負担軽減に資する組織体制を目指していく。

④ 働き方改革に伴う人事戦略の策定と実践

同一労働・同一賃金の施行にあたり、非正規職員への待遇是正に伴う就業規則の改定と、超勤手当縮小に向けた人員配置及び勤務形態を検討する。2020年度は収支上、人件費の大幅な増加が見込まれることから、病院全体のコストマネジメントを再徹底し、医業収益の増収が求められる。よって、既存の委託契約などの随意契約、水道光熱費など費目ごとの見直しによりアクションプランを策定し、益出しをおこなっていく。

⑤ 業務のIT・ICT化

近年、病院ではIT・ICT化など技術革新が急速に進んでいることから医療モデルの革命期にあると言われているが、当院においてはRFIDを活用した新SPDシステムの導入や、血圧や体温、SpO₂（血中酸素飽和度）などの測定データを電子カルテに自動転送するスポットチェックモニタの導入、AI搭載の256列CTのリプレイスなどIT化を進めているが、依然として病院全体的に見ても全体最適を意識したシステム化はまだ遅れている状況である。今後は統合されたデータ活用により経営の意思決定の高度化が求められることから、BI（ビジネスインテリジェンス）の検討も必要となる。さらに生産年齢層の減少による労働力不足に対処するためにRPA（Robotic Process Automation）の活用により業務自動化など人間の代替も視野に入れ、他病院の導入事例を研究していく。

（2）医療の質の向上に向けた取組み

① 働き方改革への対応

2024年の医師の労働時間規制を見据え、多職種へのタスク・シフティングによる負担軽減と、地域連携体制による機能分化を進め、勤務間インターバル制度も検討していくと同時に、医師補助・看護補助作業員への育成・教育を通して質の向上を図り、安定した雇用維持もしていかなければならない。将来的には、地域において人々が安全に安心して療養できることを目指し、常に人々の傍らで活動する看護職やコメディカルの、医療的な判断や、裁量の拡大を進める方向で議論がなされていることから、ナース・プラクティショナーなど医師を代替する役割を想定した看護師やコメディカルの育成・教育を行っていく。

② 難聴・鼓膜再生センターの開設

現在の日本は急速に高齢化が進み、平均寿命の伸びとも相まって、難聴が大きな問題となっている。技術革新から治療不可能であった難聴も多くは治療できるものとなってきたが、一方で適切な診断と治療を受けている患者は少なく、本来治るはずの難聴が放置されている場合が多く見受

けられる。以上のような社会的・医学的背景から難聴に特化した「難聴・鼓膜再生センター」を2020年4月に開設予定。

<主たる経営指標数値>

(A) 入院

	2018年度 実績	2019年度 着地見込み	2020年度 計画	増減
患者数(年間)	217,702人	210,303人	217,518人	+7,215人
診療単価(室料含む)	75,250円	78,676円	80,038円	+1,362円
診療単価(室料除く)	70,702円	73,608円	74,963円	+1,355円
新入院患者数(月間)	1,557人	1,660人	1,722人	+62人
病床利用率	78.0%	80.6%	82.7%	+2.1%
平均在院日数	10.6日	9.5日	9.5日	±0.0日

※病床利用率：在院延患者数（24時現在の患者数）に基づき算出。

※診療単価：ドック受診者は含まない。

(B) 外来

	2018年度 実績	2019年度 着地見込み	2020年度 計画	増減
患者数(年間)	434,088人	422,540人	429,777人	+7,237人
診療単価	19,180円	19,929円	19,987円	+58円

(C) その他

	2018年度 実績	2019年度 着地見込み	2020年度 計画	増減
紹介率	73.9%	75.0%	75.0%	±0.0%
逆紹介率	155.2%	155.0%	155.0%	±0.0%